

プログラム集

「望む場所で暮らす」を かなえるために つくる・つなげる在宅ケア



開催日

2024年 8月 24日 土 ~ 25日 日

オンデマンド配信：2024年 9月 30日 まで

現地開催

+ 演題&一部プログラム
オンデマンド配信

会場

鎌倉芸術館
神奈川県鎌倉市大船6-1-2

学術
集会長

永田 智子
慶應義塾大学看護医療学部

共催 鎌倉市

後援 一般社団法人神奈川県介護支援専門員協会 一般社団法人神奈川県作業療法士会 一般社団法人神奈川県訪問看護ステーション協議会
一般社団法人日本在宅ケアアライアンス 神奈川県言語聴覚士会 慶應義塾大学SFC研究所 公益社団法人神奈川県看護協会
公益社団法人神奈川県理学療法士会 (以上・五十音順)

助成 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 慶應SFC学会

私たち一人ひとりが ナイチンゲール



医療法人社団 健育会グループ 看護部

ご挨拶

はじめに、2024年1月に発生した能登半島地震で被災した皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地での復興支援やケアに従事しておられるすべての皆様に敬意と感謝を申し上げます。

第29回日本在宅ケア学会学術集会は、2024年8月24日(土)・25日(日)に、鎌倉芸術館にて開催いたします。

人口減少、少子高齢化が進行し、2040年に向けケアの担い手不足の深刻化が予想される一方、「住みたい場所」「暮らしたい場所」で暮らしたいという人々の希望はより顕著なものになっています。

その希望を叶えるためには、「暮らし続けられる場」「暮らしを支えるサポート」「持続可能なケアシステム」が必要であり、新たなモノや場やサービスの創造、サービスや職種間の連携、効果的なケア実践を行うためのエビデンス構築が求められています。

本学術集会においてはこれらに関する多角的な企画を用意するとともに、対面での一般演題発表や交流集会等により参加者間の活発な議論を促し、在宅ケアに関する学術的なトピックスや現場での新たな実践などを含め、「望む場所で暮らす」ことへの支援に関する新たな気づきが得られる機会とすることを目指しています。併せて、一部の企画のオンデマンド配信、および一般演題のポスターのオンライン公開も行いますので、現地に赴くことが難しい方もぜひ参加をご検討いただければと思います。

会場となる鎌倉市は歴史好きならずとも一度は訪れたい、そして一度訪れたら何度も続けて訪れたい、新旧の魅力あふれる街です。初日の特別講演では、古刹の僧侶の方にご登壇いただき、「鎌倉時代のケア」の様相を紐解きますので、講演内で登場した地名を探しながら街歩きをしていただくのも一興かと存じます。いざ鎌倉！

多くの皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

第29回日本在宅ケア学会学術集会

学術集会長 永田 智子(慶應義塾大学看護医療学部)

開催概要

第29回日本在宅ケア学会学術集会

<https://jahc29.yupia.net/>

- テーマ 「望む場所で暮らす」をかなえるために：つくる・つなげる在宅ケア
- 会 期 現 地 2024年8月24日(土)～8月25日(日) (ライブ配信はありません)
WEB 2024年8月23日(金)～9月30日(月) (オンデマンド配信のみ)
- 現 地 会 場 鎌倉芸術館 (神奈川県鎌倉市大船6-1-2)
- 学術集会長 永田 智子 (慶應義塾大学看護医療学部)

参 加 費

区分	前期登録 2024年1月29日(月) ～7月19日(金)	後期登録 2024年8月1日(木) ～9月30日(月)
会員 (不課税)	8,000円	10,000円
非会員 (10%税込)	10,000円	12,000円
大学院生 (10%税込)	4,000円 (社会人院生を除く)	
学部生 (10%税込)	2,000円	

- * 参加費には講演集印刷冊子代、昼食代は含まない
- * 市民公開講座は参加登録不要・参加費無料

- ◆ 第29回日本在宅ケア学会学術集会 運営事務局 (学術集会参加・一般演題登録など)
〒456-0005 名古屋市熱田区池内町3-21 (株)ユピア内
TEL : 052-872-8101(平日10-16時) FAX : 050-3737-7331
E-mail : jahc29@yupia.net
- ◆ 第29回日本在宅ケア学会学術集会 事務局 (プログラム・運営など)
〒252-0883 神奈川県藤沢市遠藤4411 慶應義塾大学看護医療学部在宅看護学分野
E-mail : 29th-jahc-office@sfc.keio.ac.jp
- ◆ 一般社団法人日本在宅ケア学会事務局 (学会入会、会員登録情報の変更など)
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル (株)毎日学術フォーラム内
TEL : 03-6267-4550 FAX : 03-6267-4555
E-mail : maf-jahc@mynavi.jp

ハイブリッド開催のご案内

当学術集会は、現地会場での開催とWeb上の「オンライン開催ページ」にてオンライン開催(オンデマンド配信※)をするハイブリッド形式です。現地開催当日のライブ配信はありません。
参加に関する詳細は「参加者の方へ」のそれぞれの項をご参照ください。

※ オンデマンド配信とは

開催期間内はいつでも好きな時に、何度でもご覧いただける配信方式です。

1. 現地会場開催 8月24日(土)～8月25日(日)

会場：鎌倉芸術館(〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船6-1-2)

プログラム	現地会場
オンデマンド講演	現地会場での開催はありません
一般演題	ポスターを掲示し、発表・質疑対応が行われます
その他のプログラム (日程表参照)	各プログラムを会場で実施します (一部のプログラムは録画し、後日オンデマンド配信)

2. オンライン開催(オンデマンド配信) 8月23日(金)～9月30日(月)

会場：オンライン開催ページ(<https://jahc29.online.yupia.net/>)

プログラム	オンライン開催ページ
会長講演、特別講演、教育講演 シンポジウム、 パネルディスカッション	現地開催から約1週間後に、現地開催の記録動画をオンデマンド配信します (第2会場はハンディカメラ等による簡易録画となります)
オンデマンド講演	動画をオンデマンド配信します
一般演題	事前に提出されたPDFファイルをオンデマンド配信します
上記以外のプログラム	オンデマンド配信はありません(現地開催のみ)

※ オンデマンド配信のあるプログラム・演題には、オンライン開催ページで感想や質問等を書き込むことができます。ただし、必ず返信があるわけではございませんこと、ご了承ください。

第1日目 8月24日(土)

第29回 日本在宅ケア学会学術集会 **会場：鎌倉芸術館**

		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00	
2 3 4階	第1会場 大ホール			9:30 ～ 9:40 開 会 式	9:40～10:10 会長講演 「望む場所 で暮らす」 を叶える ために	10:20～11:10 特別講演 1 鎌倉時代のケアとは ～極楽寺での実践から	11:20～12:10 教育講演 1 社会的処方と 緩和ケア			13:10～14:40 シンポジウム 1 地域における 居場所づくりの課題と展望	14:50～16:20 シンポジウム 3 在宅ケアにおけるビッグデータ/ リアルワールドデータの活用と 今後の展望								
1 2階	第2会場 小ホール						11:00～11:50 論文賞 記念講演	12:00～12:50 会員報告会		13:10～14:40 シンポジウム 2 在宅ケアの効果を評価する	14:50～16:20 シンポジウム 4 地域で構築する 医療・福祉連携支援システム								
3階	第3会場 集会室							12:00～13:00 ランチョンセミナー1 回復につながる在宅ケアとは ～早期から戦略的にリフトを 使って卒業に至った事例 (共催：株式会社モリトー)		13:10～14:30 ワークショップ 1 これからの在宅ケア人材育成 ～新カリキュラム 「地域・在宅看護論」を踏まえて～	14:50～16:10 ワークショップ 2 望みをかなえる外出支援 ～障害があっても楽しもう～								
	第4会場 会議室1									13:30～14:30 Meet the expert! そこが知りたい 在宅ケア①	14:50～16:00 交流集会 1 「望む場所で暮らす」をかなえる ための在宅・救急外来間の シームレスな連携を考える - 頻回な救急外来受診高齢者と地域を “つなげる在宅ケア”のあり方 -								
	第5会場 リハーサル室											14:50～16:00 交流集会 2 その人らしく生きるを支える 在宅看護の事例検討会 ～多職種・非多職種連携と 家族の支援の力を発揮する～							
1階	ギャラリー1									13:00～13:50 一般演題 A-1 群 認知症ケア 1	14:00～14:50 一般演題 A-2 群 認知症ケア 2	15:00～15:50 一般演題 A-3 群 介護予防							
										13:00～13:40 一般演題 B-1 群 退院支援 1	14:00～14:50 一般演題 B-2 群 退院支援 2	15:00～15:50 一般演題 B-3 群 チームアプローチ							
	ギャラリー2									13:00～13:50 一般演題 C-1 群 教育・人材育成 1	14:00～14:50 一般演題 C-2 群 教育・人材育成 2	15:00～15:50 一般演題 C-3 群 教育・人材育成 3							

第2日目 8月25日(日)

第29回 日本在宅ケア学会学術集会 会場：鎌倉芸術館

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
5	2～4階	第1会場 大ホール	9:30～10:20 教育講演 2 訪問看護の パイオニアから見た 現在の在宅ケア	10:30～11:20 特別講演 2 2024年改定を 踏まえた在宅ケアの これから	11:30～13:00 シンポジウム 5 在宅ケアにおける 地域資源としての高度実践看護	13:10～14:00 教育講演 3 こどもホスピスの 取り組み		14:40～15:40 市民公開講座 「住み慣れた自宅で 最期まで…」を かなえるために ～在宅ケアのすゝめ～	15:50～ 閉会式	
	1～2階	第2会場 小ホール	9:20～10:40 パネルディスカッション 1 テレヘルスで実現する 新しい在宅ケア	10:50～12:10 パネルディスカッション 2 地域の多様な居場所における 専門職の役割とは？		13:00～14:30 シンポジウム 6 安心・安全に住み続けられる 住まいづくり				
	3階	第3会場 集会室	9:20～10:40 ワークショップ 3 望む場所で暮らし続ける ための移動・外出支援	10:50～12:00 ガイドライン作成委員会 「在宅ケア実践ガイドライン 2025(仮)」の作成	12:20～13:20 ランチョンセミナー2 在宅療養者の「美味しい栄養」 をまるっとささえる食の支援 (共催：株式会社大塚製薬工場)	13:30～14:40 政策提言委員会 高度実践看護師は 在宅ケアに何をもたらすか				
		第4会場 会議室1	9:20～10:30 交流集会 3 対象の生活と地域、多様性・ 複雑性を活かした看護の創造を 目指す看護基礎教育 地域・在宅看護論における 看護過程の活用を考えるー	10:50～12:00 交流集会 5 訪問看護を変える DX： 生産性向上への道筋と 成功事例の探求		13:30～14:30 Meet the expert! そこが知りたい 在宅ケア②				
		第5会場 リハーサル室	9:20～10:30 交流集会 4 大規模災害時、要配慮者が 支援者として活躍するために： 課題とアイデアの共有	10:50～12:00 交流集会 6 在宅ケアの多職種で カスタマー・ハラメントを 考える						
1階	ギャラリー1		9:20～10:10 一般演題 A-4群 家族支援1	10:20～11:00 一般演題 A-5群 障害児(者)支援・ 家族支援2	11:20～12:10 一般演題 A-6群 医療的ケア児支援	13:00～13:50 一般演題 A-7群 ACP, 地域共生社会	14:00～14:40 一般演題 A-8群 ターミナルケア			
			9:20～10:10 一般演題 B-4群 多職種連携1	10:20～11:10 一般演題 B-5群 多職種連携2	11:20～12:10 一般演題 B-6群 テレナーシング	13:00～13:50 一般演題 B-7群 在宅ケア技術	14:00～14:50 一般演題 B-8群 サービスの質			
	ギャラリー2		9:20～10:10 一般演題 C-4群 地域包括ケアシステム1	10:20～11:10 一般演題 C-5群 地域包括ケアシステム2	11:20～12:00 一般演題 C-6群 地域包括ケアシステム3	13:00～13:50 一般演題 C-7群 組織管理	14:00～14:40 一般演題 C-8群 災害支援			

参加者の方へ

現地会場参加・オンライン参加 共通事項

1. プログラム集・抄録集

<プログラム集>

- ・「プログラム集」は、抄録が掲載されていない簡易的な内容です。完成次第、学術集会ホームページに掲載しますので、どなたでもダウンロードできます。
- ・学会員の方には、学術集会の参加登録に関わらずプログラム集の冊子が送付されます。
- ・印刷冊子の残部は会場のチラシ置き場に設置しますので、自由にお持ちいただけます。非会員の方には印刷冊子の送付はありませんので、印刷冊子をご希望の場合は現地会場でお受け取りください。

<抄録集>

- ・上記プログラム集の内容に加えて抄録本文が掲載された「抄録集」は、PDFでの配布となります。基本的に、印刷冊子の送付はありません。
- ・抄録集完成後、8月中に抄録集PDFのダウンロードURLを参加費入金済みの皆様へ一斉にお知らせします。その後に入金された方には、入金確認メール内に抄録集PDFのダウンロードURLを掲載してお知らせします。
- ・上記のほか、「オンライン開催ページ」にログインしてダウンロードすることも可能です。ログイン方法等については「オンラインでのご参加について」の項をご参照ください。
- ・印刷冊子をご希望の方は、有料にて承ります。7月末までにホームページからご注文ください(税・送料込み1冊2,500円)。なお、現地会場での販売は行わない予定ですが、残部が発生した場合には少部数のみ販売します。

2. 領収書

入金確認のメールで領収書のダウンロードURLをご連絡しています。
(現地でお支払いの方には現地でお渡します。)

3. 参加証・名札

参加証・名札はPDF発行です。(現地でお支払いの方には現地でお渡します。)
オンライン開催ページにログインして、ログイン可能期間内にダウンロードしてください。
その他の形式での発行をご希望の方は、運営事務局までご相談ください。

なお、現地開催にご参加の際は、名札を印刷して会場へご持参をお願いいたします。詳細は「現地会場へのご参加について」の項をご参照ください。

4. 現地会場での当日参加受付を予定されている方へ

- ・ できるだけ現地会場でのお支払いを避けていただき、以下のページからオンラインでの申込およびオンラインでの決済をお願いします。
<https://jahc29.yupia.net/sanka.htm>
- ・ どうしてもオンラインで申込・決済ができない場合は現地会場での当日受付による参加も可能としますが、現金の場合はおつりのないようにご協力をお願いいたします。
- ・ 現地会場で受付・お支払いされた方にはその場で領収書・名札と共に、抄録集のダウンロードURLやオンライン開催ページのログイン情報をお伝えします。
- ・ 当日参加受付の詳細は後述の「現地会場へのご参加について」内、受付方法の項をご参照ください。

5. 一般演題の表彰について

当学術集会では、一般演題のうち特に優秀と認められたものを優秀演題として表彰します。

優秀演題は査読委員による抄録の一次選考と企画委員による二次選考により決定し、会場内およびオンデマンド配信上で掲示するとともに、閉会式で表彰します。

6. 撮影・記録の禁止（権利侵害についてのご注意）

発表については、発表者に著作権や肖像権等の権利があります。発表者に許可なく撮影や録音をしたり、画面のスクリーンショットを撮ったりすることは権利侵害にあたりますのですべて禁止いたします。十分にご留意ください。

現地会場へのご参加について

1. 会場へのアクセスと会場配置図

鎌倉芸術館

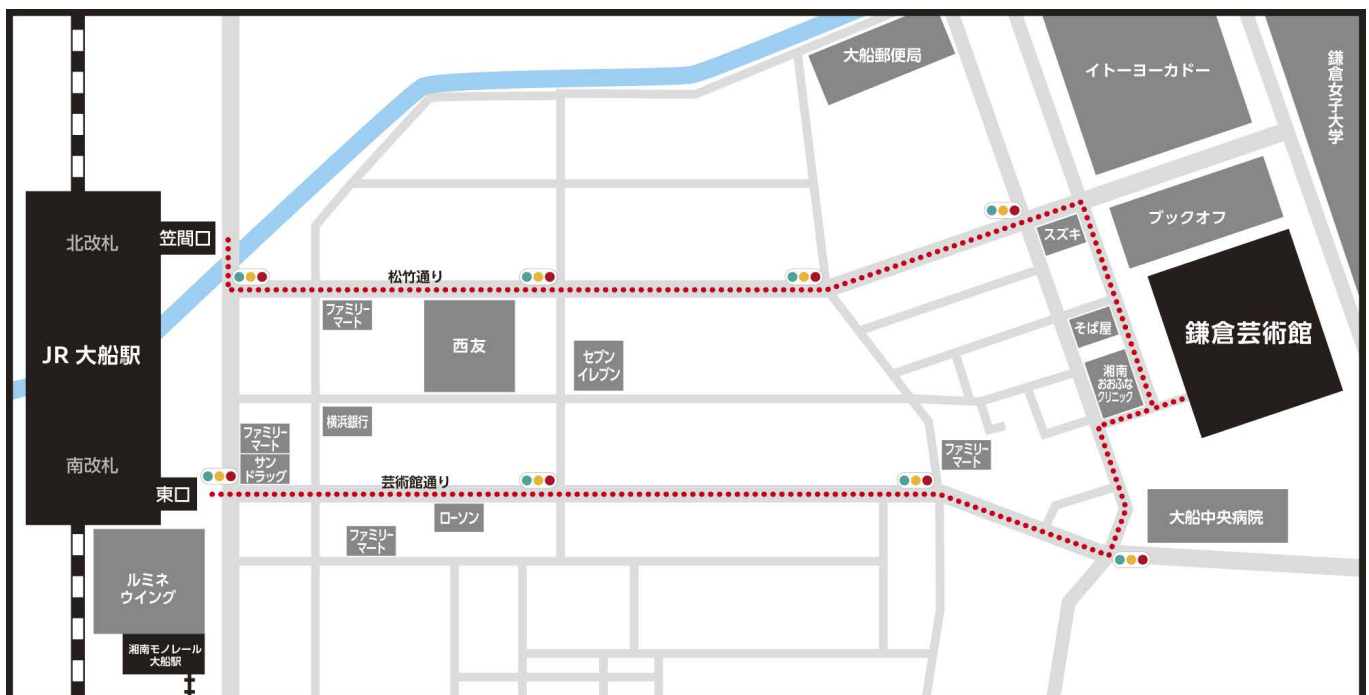
〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船 6-1-2

<アクセス>

JR 大船駅から徒歩約 10 分

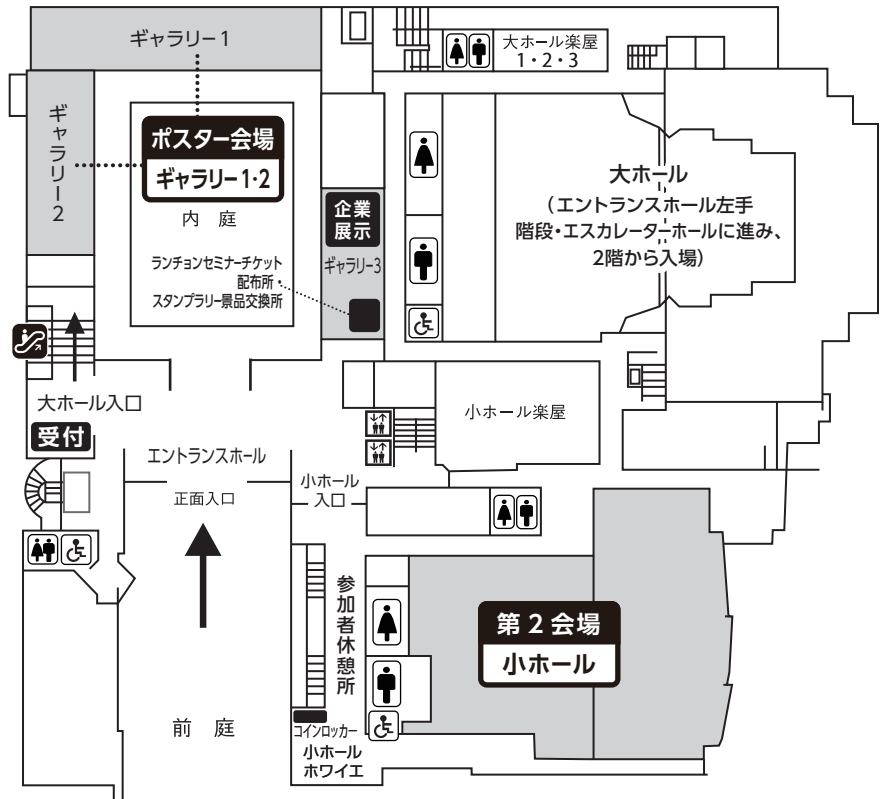
鎌倉芸術館 アクセスページ

<https://kamakura-kpac.jp/map/>

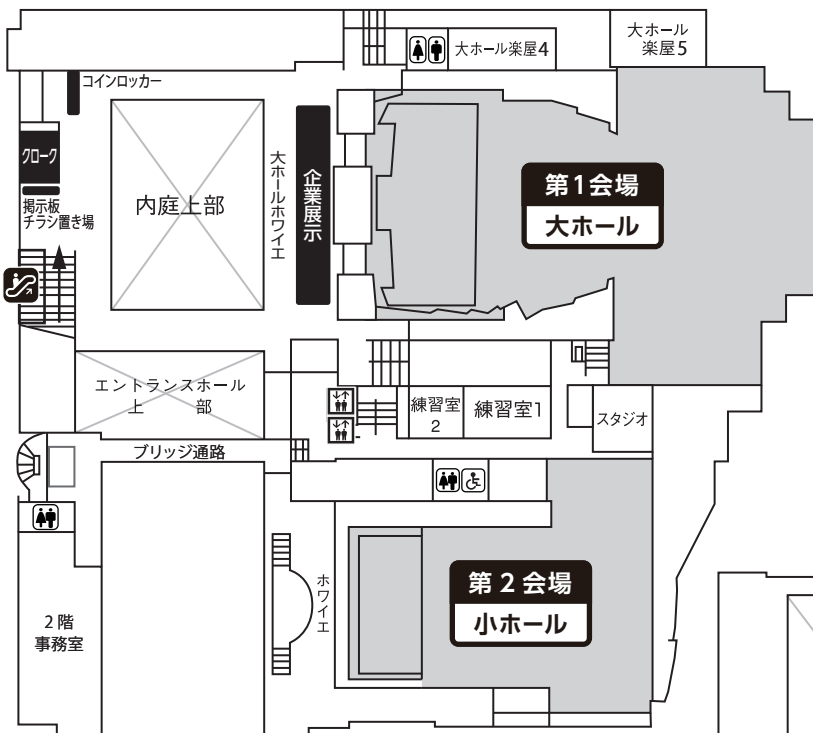


会場配置図

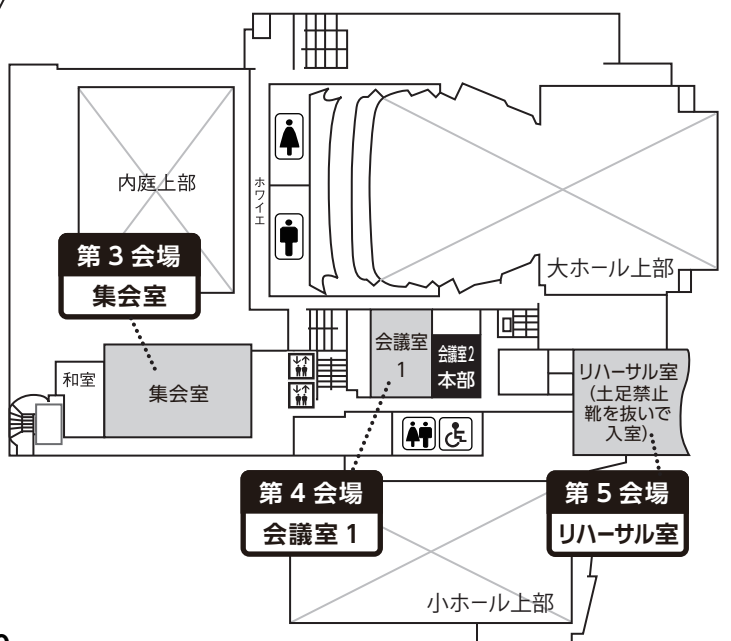
1F



2F



3F



2. 受付場所と受付開始時間

場所： 鎌倉芸術館 1階 大ホール入口（メインエントランス入って左手）

時間： 8月24日(土) 9:10～15:00

8月25日(日) 9:10～14:00

※ 建物に入館できるのは9:00以降となりますことをご了承ください

3. 受付方法

【事前にオンラインで登録・決済された方へ】

1. 受付は不要です。オンライン開催ページでダウンロードできる名札をご自身で印刷してご持参ください。
2. 会場に名札ケースを用意しています。ケース内に名札を入れてご着用ください。
(カラー印刷が難しい方、当日お忘れの方は名札カードをお渡しいたしますので受付にお申し出ください。なお、お申し出の際に、スマートフォンなどでPDFを表示していただけますとスムーズです)

【現地会場で当日参加登録をされる方へ】

できるだけ事前にオンライン登録・オンライン決済をお願いいたします。どうしても難しい場合は、以下の手順でお受けします。

1. 受付に当日参加登録をご希望の旨をお申し出ください。
2. 受付でお示しするフォームにご自身のスマートフォンなどで参加登録情報を入力していただくか、受付にご用意する当日参加申込用紙をご記入・ご提出の上、当日参加費をお支払いください(用紙記入の場合、受付で代理登録をいたしますため、少々お時間をいただきますことをご容赦ください)。
なお、お支払いにはクレジットカードや電子マネー等もご利用いただけます。現金でお支払いの場合はおつりがないようにご準備をお願いいたします。
3. 名札と名札ケース、参加証・領収書、抄録集のURLやオンライン開催ページのログイン情報をお渡しします。
4. 名札に必要事項を記入し、名札ケースに入れてご着用ください。

4. クローク

大ホール2階にクロークがございます。貴重品はお預かりできません。

時間： 8月24日(土) 9:00～16:30

8月25日(日) 9:00～16:10

館内にはリターン式のコインロッカーがありますので、貴重品のお預けにはコインロッカーをご利用ください。

5. 飲食について

1) ランチョンセミナー

チケット配布 各開催日 9:10より ギャラリー3にて(要名札提示・先着順)

- ・ 土曜、日曜とも、第3会場にてお弁当付きのランチョンセミナーが開催されます。
- ・ セミナーはチケット制です。チケットは各セミナーの開催日に上記の通り配布します。
- ・ チケットは名札をお持ちの方にお配りしますので、名札をご着用ください。
- ・ お渡しできるチケットは1人1枚です。複数の方の分をお渡しすることはできません。
- ・ チケットはプログラム開始3分後に無効となり、残席がある場合はどなたでも入場できるようになります。できるだけ開始時間までに入室してください。
- ・ キャンセル待ちをされる場合は、残席がある場合に限りプログラム開始3分後から入室可能となります。

2) 飲食可能スペース

以下の場所では飲食が可能です。ただし、にょいの強いものや汁気の多いものはお控えください。また、ごみは必ずお持ち帰りください。

- ・ 大ホールホワイエ、小ホールホワイエ（※ホール内は飲食禁止です）
- ・ 2階エレベーターホール前
- ・ プログラムのない時間帯の第4会場(会議室1)

3) 会場内の自動販売機

大ホールホワイエ、小ホールホワイエには飲料の自動販売機があります。

4) 近隣施設

隣接するイトーヨーカドー大船店にはいくつか飲食店があります。

6. 企業展示

大ホールホワイエ、ギャラリー3に企業展示があります。

名札の用紙に企業展示スタンプラリーの台紙が付属しています。スタンプを集めていただいた方には先着にて景品をご用意していますので、ふるってご参加ください。

	企業展示	スタンプラリー景品交換所
場所	大ホールホワイエ、ギャラリー3	ギャラリー3
時間	8月24日(土) 9:00~16:40 8月25日(日) 9:00~15:00	8月24日(土) 9:10~15:00 8月25日(日) 9:10~14:00

7. 会場でのインターネット接続

正面入口付近(屋外)にて、鎌倉市のfree Wi-Fi(Kamakura_Free_Wi-Fi_2)が利用できます。接続先を選択後にブラウザを立ち上げて、規約への同意や登録が必要となります。必要な方は、ご自身の責任でご利用ください。

8. お子様連れでご参加の方へ

お子様連れでご参加の際は、お子様が一人にならないように必ず保護者の方が付き添ってください。暑い時期ですので、体調管理にもご配慮をお願いいたします。

会場内には託児室のご用意はありませんが、授乳や休憩などに利用できる部屋をご用意しますので、必要な方は受付にお声掛けください。なお、大ホール・小ホールには親子室があります。

9. 注意事項

- ・ 第5会場(リハーサル室)は土足禁止となります。入口で靴を脱いで入室してください。
- ・ 会場内は禁煙です。
- ・ 会場内では携帯電話の電源を切るか、マナーモードにしてください。
- ・ 感染予防にご留意いただき、できるだけマスクの着用をお願いいたします。体調不良の際はオンライン参加とする、またはお早めにご帰宅いただくなど、自己管理をお願いいたします。
- ・ 講演・発表内容の撮影・録音を行うことは権利侵害となりますため、固く禁止いたします。撮影・録音等を行っていることが明らかとなった場合には、それ以降の学術集会への参加をお断りいたします。
- ・ 学術集会が撮影等を許可した報道関係者や記録担当者は、取材者証や記録者証などを着用しています。必要な方は受付にご相談ください。

10. その他

感染症の流行や災害等により学術集会の自粛が必要な場合、速やかに現地会場での学術集会の中止を決定し、オンライン開催のみに切り替えます。この場合、学術集会ホームページに緊急掲示するとともに、会場の入口等に掲示します。

オンラインでのご参加について

1. オンライン開催ページ



第29回 日本在宅ケア学会学術集会
オンライン開催ページ

<https://jahc29.online.yupia.net/>

ログイン可能期間：9月30日(月)まで

- ・ 上記オンライン開催ページに、オンデマンド配信の動画および演題発表ファイル(PDF)を掲載します。
- ・ 抄録集や参加証・名札も、上記にログインしてダウンロードしていただけます。
- ・ 現地開催当日のライブ配信はありません。
- ・ 会場開催の記録動画は、開催後1週間程度で掲載予定です。掲載後、メールおよびホームページでお知らせいたしますので、少々お待ちください。
- ・ オンライン開催ページはGoogle Chrome, Microsoft Edgeの最新版で動作確認をしています。スマートフォンでもご覧いただけます。なお、Internet Explorerでは正しい動作が保証できません。
- ・ オンライン開催ページは現地開催の数日前にプレオープンします。プレオープンしましたらメールでご連絡します。現地会場にご参加の方は名札の印刷・ご持参をお願いいたします。
- ・ 操作せずに6時間が経過するとログアウト状態になります。お手数ですが、再度ログインをお願いいたします。

2. ログイン情報

- ・ オンライン開催ページにログインするためには、ID(参加登録番号)とパスワードが必要です。IDとパスワードは参加登録時の「参加登録を完了しました」というメールに記載されています(現地会場でお支払いの方には別途用紙をお渡しします)。
- ・ 入金確認ができていない場合はログインできません。
- ・ IDとパスワードはご本人専用です。複数名でのご利用は避けてください。視聴する方は全員参加登録及びお支払いの上、個別にログインをお願いいたします。
- ・ 同じPCから別の方が参加される場合は、一度ログアウトをして頂き、改めてご自身のIDとパスワードでログインしてください。
- ・ 参加にあたっての留意事項についてご確認いただき、遵守する旨のチェックを入れてログインしてください。

3. オンデマンド配信へのリアクション

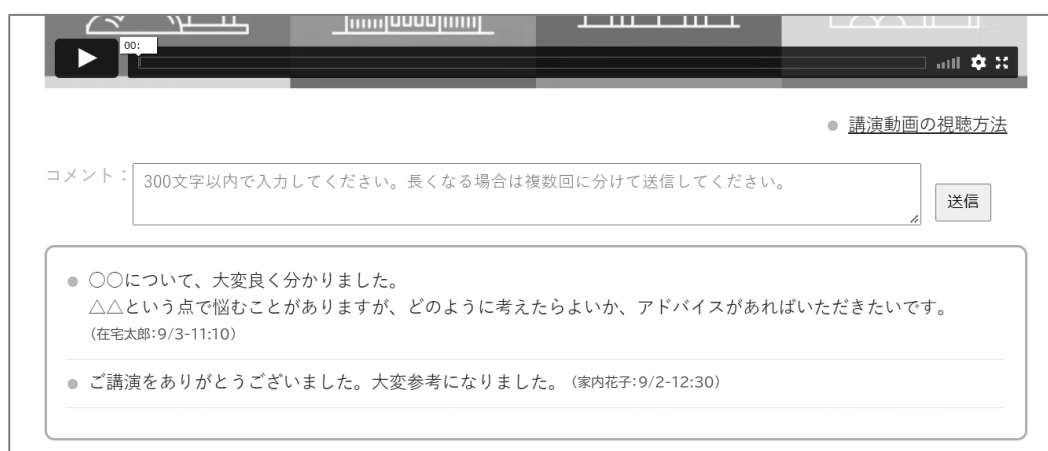
- ・ 各プログラムのページには、コメント欄や質問・感想掲示板を設置しており、一般演題では「拍手」を押すことができます。ぜひ積極的にご活用ください。
- ・ コメント欄や質問・感想掲示板への投稿内容について、事務局が不適切と判断した内容については削除させていただく場合がありますのでご了承ください。不適切な書き込みを発見した方は、速やかにお知らせください。

1) メインプログラム

各プログラムにコメント欄を設置しています。

投稿すると、ご自身の氏名と投稿時刻が自動的に表示され、公開されます。

質問の書き込みも可能ですが、基本的には回答できませんことをご了承ください。



2) 一般演題

演題毎に「質問・感想」「拍手」のボタンを用意しています。ブラウザによっては正しく動作しませんので、推奨ブラウザ(Google Chrome, Microsoft Edge)をご利用ください。



(1) 質問・感想

- ・ クリックすると該当演題の掲示板が開き、質問・感想を書き込むことができます。
- ・ 投稿すると、ご自身の氏名と投稿時刻が自動的に表示され、公開されます。発表者からの返信に対してさらに返信を書き込むことも可能です。
- ・ 質問・感想の書き込みがある演題では、質問・感想ボタン上に丸印が表示されます。
- ・ 投稿履歴は各自の「メッセージボックス」(後述)のページで確認できます。
- ・ 発表者が回答する時間が必要ですので、ご質問はできるだけオンライン開催期間終了の5日前までにお願ひします。なお、回答がない場合もありますことをご了承ください。
- ・ 投稿内容は全ての参加者が閲覧できます。個人情報や公開不可の内容は記載しないようご注意ください。

(質問・感想ボタンをクリックした際の画面表示例)

いいね 質問・感想

質問・感想: 質問・感想内容を記入してください 投稿

● 質問・感想1
ご発表ありがとうございました。○○についてはどのようにお考えでしょうか？(学会 花子：08/22-10:03)

ご質問ありがとうございます。
今後○○を○○していく可能性があろうかと思えます。(発表太郎：08/23-16:10)

>> 返信する

● 質問・感想2
△△について、興味深く拝聴しました。
自身も△△の対応に困ることがありましたので、参考にさせていただきます。
ありがとうございました (米戸きゆり：08/25-12:17)

>> 返信する

× 閉じる

(2) 拍手

手のマークが拍手ボタンです。何度でも押すことができます。

押すと音が鳴ります。ページ内に拍手音のオン・オフの切り替えボタンがあります。

「拍手」は匿名であり、誰が押したかはわかりません。

4. メッセージボックス

- ・ オンライン開催ページには「メッセージボックス」という名前のページがあります。
- ・ このページでは一般演題の掲示板においてやりとりされた質問・感想の履歴を表示します。表示内容は、ログインした方それぞれに個別の内容となります。
- ・ 質問・感想があった場合、投稿者・発表者にメールが送信されます。メール不要の場合はメールを受け取らない旨のチェックボックスにチェックを入れてください。

5. 注意事項

講演・発表内容のスクリーンショットを撮ることや、撮影・録音を行うことは権利侵害となりますため、固く禁止いたします。スクリーンショットの撮影、その他撮影・録音等を行っていることが明らかとなった場合には、それ以降の学術集会への参加をお断りいたします。

一般演題 発表者・座長の方へ

一般演題 発表者の方へ

ホームページ内「ご発表の方へ」のページにある案内を参照の上、ご準備ください。
発表ファイルには必ずCOIの開示と倫理的配慮に関する記載を入れてください。

<現地発表>

- ・ 開催当日は、会場に設置するパネル(または同じサイズの掲示エリア)の該当の演題番号のところにポスターを掲示してください。
- ・ ポスターの掲示・撤去は指定時間内にお願いします。指定する撤去時間内に撤去されていないポスターについては、事務局で処分させていただきますことをご了承ください。
- ・ 掲示場所のサイズは幅90cm、高さ210cmです。ポスター下部は見えにくくなりますので、幅90cm×高さ160cm以内のエリアに掲示されることをお勧めします。
- ・ 左上に20cm×20cmで演題番号を掲示します。演題番号は隠さないでください。
- ・ 演題番号の右側のスペースは利用しても、しなくても、どちらでも構いません。(演題番号の裏にポスターを差し込んで掲示する場合は、演題番号部分のスペースを空けて作成してください。演題番号より下の位置から掲示していただいても結構です)
- ・ 1演題につき、発表7分、質疑3分の計10分です。
- ・ 発表セッションの開始5分前までには、ご自身のポスター前でご準備ください。必要時は、セッション開始前に座長と打ち合わせをお願いします。

各演題群のポスター掲示・撤去時間

掲示時間	撤去時間
8月24日(土) 9:00~12:40	8月25日(日) 15:00~16:10

<現地会場にご欠席となる場合>

- ・ どうしても筆頭者・共同発表者の現地参加がかなわず、発表・質疑に誰も対応できない場合は、冒頭の案内に示したフォームから8月21日(水)までに申請してください。
- ・ ポスタープリントサービス(冒頭の案内参照)を利用するなどして、現地でのポスター掲示は必ず実施してください。質疑はオンデマンド配信の際にWeb上でご対応をお願いします。

<不測の事態により、現地会場に急遽欠席となった場合>

- ・ 可能な範囲で事前に運営事務局(jahc29@yupia.net)にメールでご連絡ください。
- ・ 事前の連絡が困難であった場合には、事後でも結構ですので、できるだけお早めにご連絡をお願いします。

<オンライン（オンデマンド配信）対応>

- ・ 8月13日(火)までに提出していただいた発表ファイル(音声なし・PDFファイル)を、オンデマンド配信期間中に配信します。
- ・ オンデマンド配信期間中、参加者は自由に発表ファイルを閲覧でき、質問や感想を各演題の掲示板に投稿することができます。ダウンロードやコピーはできません。
- ・ 掲示板に投稿があった場合には自動でメールをお送りします。可能な範囲で結構ですので、質問への回答などのご対応をお願いいたします。
- ・ 掲示板に投稿された内容は他の参加者にも公開されますため、個人情報等は投稿しないようご注意ください。誹謗・中傷など、不適切な内容がある場合は、運営事務局にご連絡ください。確認の上、削除対応いたします。
- ・ 「拍手」ボタンが押された数は公表されませんが、発表者はご自身のメッセージボックス内でボタンが押された数を確認することができます。

一般演題 座長の方へ

- ・ 担当される演題群のセッション開始15分前までに、受付にお声掛けください。
- ・ 座長用の名札をお渡ししますので、ご着用をお願いいたします。
- ・ 演題群開始10分前までに該当演題のパネル前にてご準備ください。
- ・ スタッフから指し棒をお渡ししますので、各発表者へのお渡し・受け取りをお願いします。指し棒を利用しない発表者からは引き取ってください。
- ・ 発表は1演題につき10分間(発表7分、質疑3分)です。マイクはありません。
- ・ スタッフがタイムキープを行い、発表開始後6分(発表時間残り1分)、7分(発表時間終了)、10分(質疑時間終了)の際にそれぞれお声掛けします。
- ・ 欠席の演題がある場合は、そのまま時間を詰めて次の演題に進んでください。
- ・ 終了後はスタッフに指し棒と座長用名札をお渡しください。
- ・ セッション時間内に演題群の発表が終了するよう、ご協力のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

交流集会 企画者の方へ

<会場設備について>

- ・ 交流集会は現地開催のみのプログラムです。
会場にはライブ配信やオンデマンド配信用の録画等の準備はありません。
- ・ 会場内はシアター形式(参加者席は椅子のみで机なし)です。
演者席・座長席・スタッフ席用に長机を4台ご用意します。
- ・ 第5会場(リハーサル室)は土足禁止となります。入口で靴を脱いで入室してください。
- ・ 部屋の外に受付等を出すことはできません。必要時は部屋内に設置してください。
- ・ 部屋の外に掲示物用のホワイトボード案内板(高さ110cm、ボード寸法 縦78cm×幅25cm)をご用意します。弱粘着テープの利用が可能です。
(なお、壁面への貼り付けは禁止です。壁面の保護にご留意ください)
- ・ 会場内ではノートパソコン(Windows)・プロジェクター・スクリーン・マイク(有線2本、無線2本)がご利用いただけます。HDMIケーブルをつなぎ変えて、ご自身のパソコンからプロジェクターで映写することも可能です。
- ・ それ以外の機器が必要な場合は原則として企画者でご準備をお願いいたします。

<当日 開始まで>

- ・ どなたかが代表して開始時刻の20分前までに受付にお越しいただき、交流集会受付をお願いします。
- ・ 会場の準備は全て企画者の方が行ってください。
会場には、前のプログラム終了後にご入場をお願いします。
- ・ 事前の打ち合わせが必要な場合、専用のお部屋はご用意できません。休憩スペース等を適宜ご利用ください。どうしてもお困りの場合は受付へご相談ください。

<運営・片づけ>

- ・ 会場での運営・進行・片付け(現状復帰)はすべて企画者の方が行ってください。
- ・ 時間内に片づけまで終了し、終了時刻までに退出してください。終了後の休憩時間には次のプログラムの方が準備できるよう、ご協力をお願いいたします。

<その他>

- ・ 交流集会は現地会場でのみのプログラムのため、オンライン開催ページへの掲載はありません。
- ・ 発表ファイルの事前提出は不要ですが、スライドや配布物等には利益相反状態(COI)の開示を必ず入れてください。

現地開催プログラム

第1日目 8月24日(土)

開会式	第1会場（大ホール）	9:30～9:40
-----	------------	-----------

会長講演	第1会場（大ホール）	9:40～10:10
------	------------	------------

「望む場所で暮らす」を叶えるために

座長：村嶋 幸代 氏（湘南医療大学）
演者：永田 智子（慶應義塾大学）

特別講演 1	第1会場（大ホール）	10:20～11:10
--------	------------	-------------

鎌倉時代のケアとは ～極楽寺での実践から

講師：田中 密敬 氏（極楽寺）
聞き手：みほとけ 氏（浅井企画）

論文賞記念講演	第2会場（小ホール）	11:00～11:50
---------	------------	-------------

座長：菊地 ひろみ 氏（札幌市立大学）

優秀論文賞

脳損傷患者におけるJ-SDSA と自動車運転技能の関係

高間 達也 氏（七尾自動車学校）

奨励論文賞

慢性呼吸器疾患患者に対する看護師・理学療法士・作業療法士による
在宅呼吸リハビリテーションの実践に関する質的研究

北村 智美 氏（東京大学大学院、
一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構）

教育講演 1

第1会場（大ホール）

11:20～12:10

社会的処方と緩和ケア

座長：石川 志麻 氏（慶應義塾大学）
講師：西 智弘 氏（一般社団法人プラスケア）

会員報告会

第2会場（小ホール）

12:00～12:50

ランチョンセミナー 1

第3会場（集会室）

12:00～13:00

回復につながる在宅ケアとは～早期から戦略的にリフトを使って卒業に至った事例

座長：石川 学 氏（医療社団法人健育会 ケアセンターけやき ホーム長）
講師：島川 弘実 氏（笑顔の暮らしサポートオフィスとうーり 代表
認定理学療法士（補装具） ノーリフトケアコーディネーター
福祉用具プランナー）

共催：株式会社モリトー

シンポジウム 1

第1会場（大ホール）

13:10～14:40

地域における居場所づくりの課題と展望

座長：秋山 美紀 氏（慶應義塾大学）
内山 映子 氏（慶應義塾大学）
シンポジスト：坂倉 杏介 氏（東京都市大学）
内藤 克子 氏（鎌倉市）
片山 睦彦 氏（社会福祉法人光友会）

シンポジウム 2

第2会場（小ホール）

13:10～14:40

在宅ケアの効果を評価する

座長：木全 真理 氏（川崎市立看護大学）
平原 優美 氏（公益財団法人 日本訪問看護財団）
シンポジスト：山本 則子 氏（東京大学大学院）
岩本 大希 氏（Wyl株式会社）
服部 昭博 氏（特別養護老人ホーム 鈴鹿グリーンホーム）
山本 渉 氏（慶應義塾大学大学院）

ワークショップ 1

第3会場（集会室）

13:10～14:30

これからの在宅ケア人材育成 ～新カリキュラム「地域・在宅看護論」を踏まえて～

- 座長： 臺 有桂 氏 （神奈川県立保健福祉大学）
高砂 裕子 氏 （一般社団法人南区医師会 南区医師会訪問看護ステーション）
講師： 石田 千絵 氏 （日本赤十字看護大学）
久万 美帆子 氏 （横浜市踊場地域ケアプラザ 地域包括支援センター）
國吉 麻子 氏 （公益社団法人神奈川県看護協会 洋光台訪問看護ステーション）

学生向け企画

第4会場（会議室1）

13:30～14:30

Meet the expert! そこが知りたい在宅ケア ①

- 講師： 小早川 有子 氏 （居宅介護支援事業所 藤の実 主任ケアマネジャー）
彦坂 陽子 氏 （メディケアクリニック石神井公園 管理栄養士）

シンポジウム 3

第1会場（大ホール）

14:50～16:20

在宅ケアにおけるビッグデータ/リアルワールドデータの活用と今後の展望

- 座 長： 深堀 浩樹 氏 （慶應義塾大学）
シンポジスト： 渡邊 亮 氏 （神奈川県立保健福祉大学）
河野 あゆみ 氏 （大阪公立大学）
江頭 勇紀 氏 （神奈川県立保健福祉大学）

シンポジウム 4

第2会場（小ホール）

14:50～16:20

地域で構築する医療・福祉連携支援システム

- 座 長： 坂井 志麻 氏 （上智大学）
石橋 みゆき 氏 （千葉大学大学院看護学研究院）
シンポジスト： 横山 宏美 氏 （横浜市）
村瀬 磨美 氏 （地域包括支援センター 鎌倉きしろ）
安部 淳子 氏 （米沢市立病院）

ワークショップ 2

第3会場（集会室）

14:50～16:10

望みをかなえる外出支援 ～障害があっても楽しもう～

- 座長： 渡邊 宏樹 氏 （湘南藤沢徳洲会病院）
講師： 菅原 健介 氏 （ぐるんとびー）
榊原 正博 氏 （NPO法人湘南バリアフリーツアーセンター）

第2日目 8月25日(日)

パネルディスカッション 1

第2会場（小ホール）

9:20～10:40

テレヘルスで実現する新しい在宅ケア

- 座長：宮川 祥子 氏（慶應義塾大学）
パネリスト：亀井 智子 氏（聖路加国際大学）
黒木 春郎 氏（医療法人社団嗣業の会 こどもとおとなのクリニック「パウルーム」）
檜崎 浩一 氏（SOMPO Light Vortex）

ワークショップ 3

第3会場（集会室）

9:20～10:40

望む場所で暮らし続けるための移動・外出支援

- 座長：丸山 祥 氏（湘南慶育病院）
真志田 祐理子 氏（慶應義塾大学）
講師：竹井 隆晟 氏（湘南慶育病院）
永島 匡 氏（リハラボ訪問看護リハビリステーション町田店）
山田 雅司 氏（トヨタ自動車株式会社 CV Company）
勝 勇樹 氏（鎌倉市役所）
齋藤 恵 氏（鎌倉市役所）

教育講演 2

第1会場（大ホール）

9:30～10:20

訪問看護のパイオニアから見た現在の在宅ケア

- 座長：片山 陽子 氏（香川県立保健医療大学）
講師：宮崎 和加子 氏（一般社団法人だんだん会）

特別講演 2

第1会場（大ホール）

10:30～11:20

2024年改定を踏まえた在宅ケアのこれから

- 座長：堀田 聡子 氏（慶應義塾大学）
講師：迫井 正深 氏（厚生労働省）

地域の多様な居場所における専門職の役割とは？

- 座 長：吉江 悟 氏（一般社団法人Neighborhood Care）
 田口 敦子 氏（慶應義塾大学）
 パネリスト：吉江 悟 氏（一般社団法人Neighborhood Care）
 柳澤 優子 氏（Life&Com）
 河村 詩穂 氏（株式会社小杉湯）
 佐藤 真治 氏（帝京大学）
 清水 智子 氏（横浜市）

「在宅ケア実践ガイドライン2025(仮)」の作成

- 日本在宅ケア学会ガイドライン作成委員会
 尾崎 章子 氏 亀井 智子 氏 平原 優美 氏
 榎本 雪絵 氏 清水 恵 氏 河田 萌生 氏 河野 光伸 氏
 増田 和高 氏 臺 有桂 氏 服部 ゆかり 氏

在宅ケアにおける地域資源としての高度実践看護

- 座 長：山岸 暁美 氏（一般社団法人コミュニティヘルス研究機構）
 鈴木 美穂 氏（慶應義塾大学）
 シンポジスト：後藤 智美 氏（東京ほくと医療生活協同組合 生協浮間診療所）
 行田 菜穂美 氏（聖マリアンナ医科大学病院メディカルサポートセンター）
 渡部 寛史 氏（ノビシロクリニック藤沢）
 抱井 洋介 氏（埼玉県済生会鴻巣病院）

在宅療養者の『美味しい栄養』をまるっとささえる食の支援

- 座長：結城 美智子 氏（北海道大学大学院保健科学研究院 教授
 基盤看護学分野 老年看護学）
 講師：米山 久美子 氏（機能強化型認定栄養ケア・ステーションeatcoco 代表
 医療法人社団白木会 木下皮フ科 地域栄養サポート自由が丘
 慶應義塾大学看護医療学部 非常勤講師）

共催：株式会社大塚製薬工場

シンポジウム 6

第2会場（小ホール）

13:00～14:30

安心・安全に住み続けられる住まいづくり

- 座長： 本田 千可子 氏（東京大学大学院）
 山本 なつ紀 氏（慶應義塾大学）
- シンポジスト： 伊香賀 俊治 氏（一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター/慶應義塾大学）
 西田 佳史 氏（東京工業大学 工学院）
 太田 智之 氏（兵庫県立福祉のまちづくり研究所
 ロボットリハビリテーションセンター）

教育講演 3

第1会場（大ホール）

13:10～14:00

こどもホスピスの取り組み

- 座長： 叶谷 由佳 氏（横浜市立大学）
 講師： 田川 尚登 氏（認定NPO法人横浜こどもホスピスプロジェクト）

政策提言委員会企画

第3会場（集会室）

13:30～14:40

シンポジウム：高度実践看護師は在宅ケアに何をもたらすか

- 座長： 高砂 裕子 氏（一般社団法人南区医師会
 南区医師会訪問看護ステーション）
- 長江 弘子 氏（亀田医療大学看護学部）
- シンポジスト： 並木 奈緒美 氏（山梨県訪問看護支援センター）
 島田 珠美 氏（川崎大師訪問看護ステーション）
 藤野 泰平 氏（みんなのかかりつけ訪問看護ステーション）

学生向け企画

第4会場（会議室1）

13:30～14:30

Meet the expert! そこが知りたい在宅ケア ②

- 講師： 澤 朋希 氏（訪問看護ステーション ワースリビング座間 理学療法士）
 遠藤 裕子 氏（医療法人徳洲会湘南鎌倉総合病院リハビリテーション部
 言語聴覚士）

市民公開講座

第1会場（大ホール）

14:40～15:40

「住み慣れた自宅で最期まで…」をかなえるために ～在宅ケアのすゝめ～

- 講師：大蔵 暢 氏（やまと在宅診療所白石）
 ゲスト：大竹 しのぶ 氏（女優）

助成：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

閉会式

第1会場（大ホール）

15:50～16:00

オンデマンド配信プログラム

オンデマンド講演 1

在宅ケアにおける感情労働 ―その疲れはどこから来るのだろうか―

講師：武井 麻子 氏 (Office-Asako)

オンデマンド講演 2

ヤングケアラーをサポートする仕組みをどう作るか

講師：澁谷 智子 氏 (成蹊大学)

オンデマンド講演 3

共生社会の実現を推進するための認知症基本法とWell-being

講師：森口 奈菜 氏 (日本医療政策機構)

オンデマンド講演 4

Leveraging Artificial Intelligence to Enhance Home Healthcare Outcomes

―人工知能を活用して在宅医療の成果を高める―

講師：Maxim Topaz 氏 (Columbia University School of Nursing)

オンデマンド講演 5

輪島の在宅ケアの今とこれから ―能登半島地震から半年を経過して―

講師：小浦 友行 氏 (ごちゃまるクリニック)

生涯教育委員会企画

なぜ在宅ケアを問い直すべきか ―イギリスからの提言―

講師：Bob Rhodes 氏 (英国Lives Through Friends 代表)

学会活動推進委員会企画

ICTや3Dプリンターを用いた「モノづくり」で在宅ケアを支える

講師：林 園子 氏 (一般社団法人ICTリハビリテーション研究会)

交流集会

交流集会1

第4会場（会議室1）

8月24日（土）14:50～16:00

「望む場所で暮らす」をかなえるための在宅・救急外来間のシームレスな連携を考える
—頻回な救急外来受診高齢者と地域を“つなげる在宅ケア”のあり方—

吉丸 春香^{1,2)}，寺本 千恵²⁾，大元 雅代^{2,3)}，中西 友子⁴⁾，石川 伸昭⁵⁾，
具志 陽宏⁶⁾，上野 恵子⁷⁾，加澤 佳奈⁸⁾

- 1) にじのはな在宅看護センター
- 2) 広島大学大学院 医系科学研究科
- 3) 福山平成大学 看護学部
- 4) 国家公務員共済組合 名城病院
- 5) 広島市宇品・似島地域包括支援センター
- 6) 独立行政法人労働者健康安全機構 中国労災病院
- 7) 京都大学大学院 医学研究科
- 8) 岡山大学大学院 学術研究院保健学域

交流集会2

第5会場（リハーサル室）

8月24日（土）14:50～16:00

その人らしく生きるを支える在宅看護の事例検討会
～多職種・非多職種連携と家族の支援の力を発揮する～

藤井 かし子¹⁾，渡辺 一夫²⁾，林 純子³⁾

- 1) 東京家政大学健康科学部
- 2) 日本メディカルファンド株式会社 ライフケアラボラトリー
- 3) 東京家政大学健康科学部

交流集会3

第4会場（会議室1）

8月25日（日）9:20～10:30

対象の生活と地域、多様性・複雑性を活かした看護の創造を目指す看護基礎教育
—地域・在宅看護論における看護過程の活用を考える—

前田 修子，蘭 直美，福田 守良，伊藤 真夕

金沢医科大学看護学部在宅看護学

交流集会4

第5会場（リハーサル室）

8月25日（日）9:20～10:30

大規模災害時、要配慮者が支援者として活躍するために：課題とアイデアの共有

古川 美和¹⁾，荒井 芳紀²⁾，吉橋 ひとみ³⁾，合原 聡美⁴⁾

- 1) 杏林大学保健学部看護学科看護養護教育学専攻
- 2) 社会福祉法人美咲会地域包括支援センターみずほ苑みよし
- 3) 杏林大学医学部付属病院
- 4) NPO 法人ミュー相談支援・地域活動支援センターライフサポート MEW

交流集会5

第4会場（会議室1）

8月25日(日) 10:50～12:10

訪問看護を変える DX:生産性向上への道筋と成功事例の探求

坪田 康佑¹⁾，池田 智²⁾，一色 淳之介³⁾

- 1) 国際医療福祉大学保健医療学博士課程
- 2) 第一薬科大学 看護学部看護学科
- 3) 株式会社ゼスト

交流集会6

第5会場（リハーサル室）

8月25日(日) 10:50～12:10

**在宅ケアの顧客ハラスメントについて考える
～対策の基礎知識・法と倫理の側面から～**

武 ユカリ¹⁾，山崎 祥光²⁾

- 1) 森ノ宮医療大学
- 2) 弁護士法人御堂筋法律事務所

一般演題

A-1 群 認知症ケア1

8月24日(土) 13:00～13:50 ギャラリー1

座長: 上野 まり (日本在宅ケア教育研究センター)

A-1-1 療養生活をすごす人工肛門のある認知症高齢者とその家族への支援に関する文献研究

三島 奈菜¹⁾, 原 祥子²⁾, 竹田 裕子²⁾

1) 島根大学医学部附属病院

2) 島根大学医学部地域・老年看護学講座

A-1-2 高齢者施設における排泄ケア介入研究の文献レビュー

福山 由美¹⁾, 堀口 奈緒子^{1,2)}, 古島 智恵¹⁾

1) 佐賀大学医学部統合基礎看護学講座

2) 医療法人ひらまつ病院訪問看護ステーション

A-1-3 施設における認知症高齢者の排便ケアに関するスコーピングレビュー

堀口 奈緒子^{1,2)}, 福山 由美²⁾, 江里口 八千代³⁾, 上野 幸子²⁾, 古島 智恵²⁾

1) 医療法人ひらまつ病院訪問看護ステーション

2) 佐賀大学医学部統合基礎看護学講座

3) 医療法人ひらまつ病院

A-1-4 認知症対応型共同生活介護事業所で生活する高齢者の清潔行為に関する意思決定における体験

福島 志穂

株式会社シャムロック 訪問看護ステーションさらん

A-1-5 栄養サポートチームが介入した認知症患者の退院後の食事状態に関する実態調査

伊達 啓子¹⁾, 木ノ下 智康²⁾, 田中 誠也²⁾, 佐竹 昭介³⁾

1) 国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域医療連携推進部 地域連携室

2) 国立長寿医療研究センター 先端医療開発推進センター

3) 国立長寿医療研究センター 老年内科部長

A-2 群 認知症ケア2

8月24日(土) 14:00～14:50 ギャラリー1

座長: 岡田 進一 (大阪公立大学大学院)

A-2-1 認知症の人を含む地域在住高齢者の生きがい研究の動向

吉村 舞¹⁾, 進藤 ゆかり¹⁾, 大村 拓己²⁾, 三田 来人²⁾, 湯沢 修斗²⁾, 佐藤 みゆき¹⁾

1) 日本医療大学保健医療学部

2) 日本医療大学保健医療学部看護学科

A-2-2 認知症高齢者への通所施設における認知症リハビリテーションの効果：
システムティックレビューとメタアナリシス

榎本 雪絵¹⁾、河野 光伸²⁾、河田 萌生³⁾、久篠 奈苗⁴⁾、池田 信平⁵⁾、
石井 博之¹⁾、石川 和枝⁶⁾、江藤 祥恵⁷⁾、大友 晋⁸⁾、大野 洋一⁹⁾、
岡 遥¹⁰⁾、桑原 良子¹¹⁾、白坂 宏美¹²⁾、清水 恵¹⁰⁾、尾崎 章子¹⁰⁾、
亀井 智子¹²⁾

1) 杏林大学 2) 金城大学 3) 聖路加国際大学 4) 東京家政大学
5) 東京工科大学 6) 帝京大学医学部附属病院 7) 前・聖路加国際大学大学院
8) 川口市立医療センター 9) 高崎健康福祉大学 10) 東北大学大学院
11) 松本看護大学 12) 聖路加大学大学院

A-2-3 認知症高齢者を自宅で看取った配偶者の経験とそのプロセス：
Modified Grounded Theory Approach

白坂 宏美

聖路加国際大学看護学研究科

A-2-4 認知機能低下のある高齢者の睡眠改善への光に関する介入の効果
システムティックレビューとメタアナリシス

清水 恵¹⁾、中本 五鈴²⁾、河田 萌生³⁾、服部 ゆかり⁴⁾、板橋 みずほ⁵⁾、
伊東 美緒⁶⁾、内田 陽子⁶⁾、大橋 由基⁷⁾、崎山 恵里那⁶⁾、志賀 悠⁵⁾、
杉本 健太郎⁸⁾、鈴木 峰子⁹⁾、杉本 知子¹⁰⁾、其田 貴美枝¹¹⁾、東山 公美¹²⁾、
平尾 由美子¹⁾、藤本 遼¹³⁾、南 琴子⁵⁾、Qi Lin⁵⁾、Shao Xinxia⁵⁾、
河野 光伸¹⁴⁾、榎本 雪絵¹⁵⁾、亀井 智子⁵⁾、尾崎 章子¹⁾

1) 東北大学大学院 2) 東北大学大学院/ 東京都健康長寿医療センター研究所
3) 聖路加国際大学 4) 東京大学大学院 5) 聖路加国際大学大学院
6) 群馬大学大学院 7) 洛和会音羽リハビリテーション病院
8) 千葉県立保健医療大学 9) 群馬県立県民健康科学大学 10) 北里大学
11) 青森県看護協会 12) 聖路加国際病院 13) 国立がん研究センター東病院
14) 金城大学 15) 杏林大学

A-2-5 認知症患者を対象とした在宅での非薬物療法に関する研究の国際動向
計量書誌学のアプローチによるネットワーク分析

海老澤 圭視

早稲田大学人間科学学術院

A-3 群 介護予防

8月24日(土) 15:00～15:50 ギャラリー1

座長：村田 伸（京都橘大学）

A-3-1 地域在住高齢者における生活習慣と皮膚保湿機能との関連

柴田 りさ¹⁾、大泉 綾亮²⁾

1) 元四條畷学園大学
2) 大阪公立大学

A-3-2 地域在住高齢者の生きがいのある生活に向けたテクノロジー利用ニーズ

真志田 祐理子、深堀 浩樹、宮川 祥子、新井 康通

慶應義塾大学看護医療学部

A-3-3 オンライン通いの場に関する研究の現状と課題：国内文献の検討

金森 弓枝¹⁾、春山 瑠璃²⁾、大河内 彩子¹⁾

1) 熊本大学大学院生命科学研究部看護学分野
2) 神奈川県小田原保健福祉事務所足柄上センター

- A-3-4 高齢女性における基本チェックリスト判定と口腔関連QOLとの関連
牛村 春奈¹⁾, 今井 秀樹¹⁾, 日高 未希恵²⁾, 室野 奈緒子¹⁾, 山路 朋子¹⁾,
桜井 志保美¹⁾
1) 石川県立看護大学看護学部
2) 東京医科大学医学部
- A-3-5 変形性膝関節症がある高齢者の主観的な改善についての文献検討
海外の縦断研究に焦点をあてて
中野 理恵¹⁾, 河原 加代子²⁾, 早野 貴美子¹⁾
1) 防衛医科大学校医学教育部看護学科
2) 東京都立大学 大学教育センター

A-4 群 家族支援1	8月25日(日) 9:20~10:10 ギャラリー1 座長: 雨宮 有子 (千葉県立保健医療大学)
--------------------	--

- A-4-1 在宅で暮らす認知症者の就労家族介護者における睡眠と介護・仕事役割間葛藤の
因果関係
中本 五鈴^{1,2)}, 李 佳¹⁾, スヌ ズマ¹⁾, 清水 恵¹⁾, 尾崎 章子¹⁾
1) 東北大学大学院医学系研究科
2) 東京都健康長寿医療センター研究所
- A-4-2 都市部に暮らすがんの妻と死別した高齢男性の生活の再構築を促進する訪問看護師
の関わり
森實 詩乃¹⁾, 諏訪 さゆり²⁾
1) 関東学院大学大学院
2) 千葉大学大学院看護学研究院
- A-4-3 家族介護者の関係性の違いによる介護の捉え方について
入江 多津子, 松浦 真理子, 諏訪免 典子
SBC東京医療大学 健康科学部 看護学科
- A-4-4 認知症の人を介護した経験をもつ男性における家族会参加継続の意義
男女共同の参加に着目して
川込 あゆみ¹⁾, 木村 美也子²⁾, 戸塚 智美¹⁾, 小澤 美和³⁾, 伊藤 祐子¹⁾,
秋山 巖⁴⁾, 小山 史恵⁵⁾
1) 東京純心大学看護学部
2) 昭和女子大学人間社会学部
3) 日本医療科学大学保健医療学部
4) 群馬社会福祉専門学校
5) 毛呂山町役場高齢者支援課
- A-4-5 高齢者虐待における家族介護者支援に焦点を当てた研究の現状
飛田 幸宏¹⁾, 近藤 圭子²⁾
1) 札幌市東区保健福祉部保健福祉課
2) 札幌市立大学看護学部

A-5 群 障害者(児)支援・家族支援2

8月25日(日) 10:20~11:00 ギャラリー1

座長: 田中 陽子 (畿央大学)

A-5-1 障害のある子どもたちの放課後等デイサービスの役割と課題

家庭、学校、放課後等デイ、相談支援事業所との連携の意義

人見 裕江¹⁾, 白倉 かずは²⁾, 経広 明日香³⁾, 新家 恵津子²⁾

1) 合同会社ねこのてみつ 相談支援センターねこの手みつ

2) 株式会社フリースタイルエンターテインメント ふりーすたいる のびのび事業所

3) 株式会社フリースタイルエンターテインメント ふりーすたいる にここ事業所

A-5-2 在宅で障がい児を育てる両親のコペアレンティングの特徴

ー障がい児の両親と健常児の両親の比較ー

鈴木 江利子¹⁾, 荒木田 美香子²⁾, 藤尾 祐子¹⁾, 小川 典子¹⁾

1) 順天堂大学保健看護学部

2) 川崎市立看護大学

A-5-3 侵襲的人工呼吸器装着ALS患者と家族ペア3事例における発症後の心理的状態の変化と関連要因

平野 優子¹⁾, 秋山 美紀²⁾, 大生 定義³⁾

1) 慶應義塾大学看護医療学部

2) 武蔵野大学ウェルビーイング学部

3) 新生病院

A-5-4 訪問看護師によるヤングケアラーの存在への気づきと支援の実態

種市 ひろみ¹⁾, 菱田 一恵¹⁾, 宮本 圭¹⁾, 吉田 めぐみ¹⁾, 佐藤 知子²⁾

1) 順天堂大学医療看護学部

2) 順天堂大学医学部附属浦安病院

A-6 群 医療的ケア児支援

8月25日(日) 11:20~12:10 ギャラリー1

座長: 牛久保 美津子 (群馬大学大学院)

A-6-1 通所施設で経口摂取と胃瘻を併用する子の母親の思いに対する看護師の捉え

向井 博幸, 土谷 仁美, 渡邊 八重子

訪問看護ステーションパブリカ

A-6-2 幼児期の子どもを育てる母親のプロダクティビティ尺度の開発と信頼性・妥当性の検証

石村 珠美¹⁾, 片平 伸子²⁾, 臺 有桂³⁾

1) 国際医療大学小田原保健医療学部

2) 国際医療大学大学院医療福祉学研究科

3) 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部

A-6-3 訪問看護師が認識している小児在宅移行支援における看看連携の現状と課題

藤本 真理子¹⁾, 黒原 かおり¹⁾, 岡本 三重子¹⁾, 住吉 和子²⁾

1) 独立行政法人国立病院機構岡山医療センター

2) 岡山県立大学保健福祉学部看護学科

A-6-4 医療的ケア児を育てる親が育児に関係する意思決定で葛藤した経験

石川 桂, 豊田 ゆかり, 藤原 紀世子

愛媛県立医療技術大学保健科学部

A-6-5 幼児期の医療的ケア児に対する訪問看護師による発達支援

中川 智恵¹⁾, 岡野 明美²⁾, 三輪 恭子²⁾

1) 緩和ケア訪問看護ステーション架け橋

2) 大阪公立大学大学院看護学研究科

A-7 群 ACP・地域共生社会

8月25日(日) 13:00~13:50 ギャラリー1

座長: 平原 優美 (日本訪問看護財団)

A-7-1 ヘキ地で活動する訪問看護師のアドバンス・ケア・プランニングの実施上の困難と対応

橋本 紗織¹⁾, 斎藤 彩水²⁾, 田村 直子³⁾, 牛久保 美津子¹⁾

1) 群馬大学大学院保健学研究科

2) 原町赤十字訪問看護ステーション

3) 高崎健康福祉大学保健医療学部

A-7-2 高齢在宅療養者が希望する療養を叶えるために必要な支援

ー介護力とACPIに対するタイムリーな介入ー

菅原 昌子

社会医療法人 延山会 西成病院 看護部

A-7-3 認知・生活機能の低下を自覚している高齢者の孤独感に関連する要因

井上 ゆりこ¹⁾, 中谷 久恵¹⁾, 小野 一恵^{1,2)}, 吉原 美香子¹⁾, 雷 汝欣¹⁾,

濱田 泰伸¹⁾

1) 広島大学大学院医系科学研究科

2) 安田女子大学看護学部看護学科

A-7-4 認知症に焦点を当てた高齢者のwell-being尺度の因子妥当性

小野 一恵^{1,2)}, 中谷 久恵¹⁾, 井上 ゆりこ¹⁾, 濱田 泰伸¹⁾

1) 広島大学大学院医系科学研究科

2) 安田女子大学看護学部看護学科

A-7-5 在宅療養・看取り啓発に関する調査

情報提供用DVD視聴結果(第1報)

スーディ神崎 和代¹⁾, 竹生 礼子²⁾, 鹿内 あずさ³⁾, 川添 恵理子²⁾,

斎藤 千夏⁴⁾, 中山 梨香子⁴⁾, 郡 美代子⁴⁾, 大村 里香⁴⁾, 河田 真理子⁴⁾

1) 医療創生大学国際看護学部

2) 北海道医療大学看護福祉学部

3) 北海道文教大学

4) 3HR

A-8 群 ターミナルケア

8月25日(日) 14:00~14:40 ギャラリー1

座長: 小林 裕美 (株式会社 在宅看護実践研究所)

A-8-1 在宅終末期ケアにおける看護職・介護職・介護支援専門員の連携行動に関する尺度開発

小野 若菜子¹⁾, 竹森 志穂¹⁾, 森田 誠子²⁾, 米倉 佑貴³⁾

1) 東京都立大学大学院

2) 日本赤十字秋田看護大学

3) 聖路加国際大学大学院

A-8-2 訪問看護師ががん疼痛マネジメントで困難を感じる要因と学習ニーズ

沖村 愛子, 林 直子

聖路加国際大学大学院看護学研究科

A-8-3 治療抵抗性心不全をもつ後期高齢者への訪問看護師による緩和ケア

扇谷 静香¹⁾, 川上 理子²⁾

1) 社会医療法人 近森会 近森病院 訪問看護ステーションちかもり

2) 高知県立大学 看護学部 看護学科

A-8-4 在宅看取りをした家族へのグリーフケアを行う訪問看護師の経験

子どもを看取る家族と母親を看取る家族を同時に支援したA氏の個別分析

村田 尚子¹⁾, 小林 裕美²⁾

1) 同志社女子大学看護学部

2) (株)在宅看護実践研究所

B-1 群 退院支援1

8月24日(土) 13:00~13:40 ギャラリー1

座長: 蒔田 寛子 (豊橋創造大学)

B-1-1 退院前カンファレンスに参加する高齢者に対する急性期病棟看護師の看護実践
～高齢者の意向を尊重した療養生活の実現を目指して～

大山 まどか

独立行政法人地域医療機能推進機構 JCHO神戸中央病院 地域連携室

B-1-2 Web退院前カンファレンスについての検討

リモートデバイスを活用した柔軟な退院支援方法の選択

間 京佳, 河井 多美子, 神代 英子, 座覇 綾花, 幕内 理菜, 宇山 武志

公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 地域医療サービスセンター

B-1-3 入退院支援部門の看護師からみた介護支援専門員との情報共有や連携のあり方に対する認識

北林 正子, 枝川 奈都美, 山崎 智可, 河野 由美子

富山県立大学 看護学部

B-1-4 介護支援専門員は退院時看護サマリーから“連携”をどのように考えているか

川森 淳子

社会福祉法人恩賜財団済生会今治病院

B-2 群 退院支援2

8月24日(土) 14:00~14:50 ギャラリー1

座長: 三輪 恭子 (大阪公立大学大学院)

B-2-1 病状不安定な独居高齢患者の自宅退院を叶えた多職種連携における退院支援看護師の役割

浅川 陽子¹⁾, 杉田 由加里²⁾

1) 医療法人社団景翠会金沢病院地域連携部・訪問診療室

2) 千葉大学大学院看護学研究院

B-2-2 短期記憶障害のある脳腫瘍患者とその家族への自宅退院に向けた意思決定支援

渡邊 まこ

和泉市立総合医療センター

B-2-3 医療処置が必要な高齢者への訪問看護師による在宅移行支援

乾 由美¹⁾、川上 理子²⁾

1) 高知県立大学 社会福祉学部

2) 高知県立大学 看護学部

B-2-4 終末期癌患者の在宅復帰に向けての退院支援

お墓参りをしたい、希望を叶えるために

徳田 志津子

辻内科循環器科歯科クリニック

B-2-5 入院による身体機能の低下や医療処置を要する状態になった患者・家族の在宅生活への適応を促すための訪問看護師の看護実践内容

退院直後の特別訪問看護指示期間中の訪問看護に焦点をあてて

関口 亮子¹⁾、高島 佳之²⁾、石川 武雅¹⁾、深田 悠花¹⁾、大原 千園³⁾

1) なな一訪問看護デベロップメントセンター

2) 梅花女子大学看護保健学部看護学科

3) 関西医科大学看護学部

B-3 群 チームアプローチ

8月24日(土) 15:00~15:50 ギャラリー1

座長: 矢庭 さゆり (新見公立大学)

B-3-1 運動支援機能を備えた透析患者運動支援システムの改良の検討

大川 明子¹⁾、山本 奈津美¹⁾、梅田 徳男²⁾

1) 三重県立看護大学

2) 元北里大学

B-3-2 離島で暮らす要支援高齢者の食生活に影響を与える諸要因

井上 高博¹⁾、江 啓発¹⁾、馬場 保子²⁾、石川 美智²⁾

1) 名古屋市立大学大学院看護学研究科

2) 長崎県立大学シーボルト校看護栄養学部

B-3-3 誤嚥性肺炎のリスクが高い在宅療養者と家族を対象とした言語聴覚士と訪問看護師の摂食嚥下支援内容と連携行動の実践

佐藤 直子¹⁾、青木 可奈恵¹⁾、田村 美菜子¹⁾、佐治 ひろみ¹⁾、

岩波 よう子¹⁾、岡部 明子²⁾

1) タツミ訪問看護ステーション大和

2) 東海大学医学部看護学科 (非常勤教員)

B-3-4 治療継続希望が強い患者へのチームで取り組んだ意思決定支援

前野 しのぶ¹⁾、谷口 香織¹⁾、端 裕之²⁾、露木 茂³⁾

1) 大阪赤十字病院看護部

2) 大阪赤十字病院緩和ケア科

3) 大阪赤十字病院乳腺外科

B-3-5 提案した1つの内容で5年振りの夫婦外食デートができた事例

小池 岳大

医療法人社団日高会平成日高クリニック総合ケアセンター

B-4 群 多職種連携1

8月25日(日) 9:20～10:10 ギャラリー1

座長：石垣 恭子（兵庫県立大学）

B-4-1 訪問看護師による多職種・多機関連携の意図と実践内容に関する文献検討 —乳幼児期の医療的ケア児とその家族に着目して—

藤井 愛¹⁾，新井 香奈子²⁾

1) 滋賀県立大学大学院 人間看護学研究科

2) 滋賀県立大学 人間看護学研究院

B-4-2 神経発達症児の早期診断のための連携受診を振り返る

藤本 晃代，高宮 静男，河野 洋美

たかみやこころのクリニック

B-4-3 ALS患者・家族における終末期療養への意思決定支援 —在宅療養に強い不安を持つ家族への多職種での関わり—

増井 真名美¹⁾，青山 真弓¹⁾，岩田 ひとみ¹⁾，寺地 沙織里¹⁾，水間 敦士²⁾

1) 東海大学医学部附属病院

2) 東海大学医学部 内科学系 脳神経内科

B-4-4 神経学的後遺症を呈した植込型補助人工心臓装着患者の退院支援

大久 美紀¹⁾，小倉 真理²⁾，千葉 光葉²⁾，小野寺 愛莉²⁾，片平 晋太郎³⁾，
齊藤 和智⁴⁾，武井 祐介⁴⁾，山内 正憲⁴⁾

1) 東北大学病院 看護部 麻酔科

2) 東北大学病院 看護部

3) 東北大学病院 心臓血管外科

4) 東北大学病院 麻酔科

B-4-5 外来看護師の在宅療養支援に対する取り組みと役割認識に関する研究

小澤 いずみ¹⁾，山幡 朗子²⁾，柴 智香子¹⁾，服部 貴子¹⁾

1) 愛知医科大学病院

2) 愛知医科大学看護学部

B-5 群 多職種連携2

8月25日(日) 10:20～11:10 ギャラリー1

座長：新井 香奈子（滋賀県立大学）

B-5-1 秋田県における居宅介護支援事業所ケアマネジャーの在宅療養者に対する褥瘡予防 の実態調査

菅原 舞

秋田大学医学部附属病院

B-5-2 【演題取り下げ】在宅医療にて緑内障点眼治療に伴う副作用が多職種連携により 改善が認められた一症例

西村 裕樹^{1,2,3)}，清水 映輔³⁾，三浦 翔⁴⁾，佐野 瑞穂¹⁾，伊藤 貴重¹⁾，
中山 慎太郎²⁾，服部 匡志¹⁾

1) 医療法人慶眼会横浜けいあい眼科和田町院

2) 株式会社OUI

3) 慶應義塾大学医学部眼科学教室

4) 森重訪問看護ステーション

B-5-3 訪問看護師による高齢者の快便に向けた多職種連携の実践

山本 初美¹⁾，岡野 明美²⁾，三輪 恭子²⁾

1) 多根訪問看護ステーション

2) 大阪公立大学大学院看護学研究科

B-5-4 看護職員が行う入浴判断に影響を及ぼすデイサービスの現状

三好 加奈子¹⁾, 森 恵子²⁾

1) 岡山大学大学院保健学研究科博士後期課程

2) 岡山大学大学院保健学研究科

B-5-5 介護支援専門員が求める多職種事例検討会の運営方法

「わかる事例検討会WEBせんだい」参加者に焦点をあてて

大沼 由香¹⁾, 赤間 由美²⁾, 太田 ゆきの¹⁾, 内藤 恵介¹⁾, 阿部 鮎美³⁾

1) 岩手保健医療大学看護学部

2) 山形大学医学部

3) 社会福祉法人志和大樹会

B-6 群 テレナーシング／遠隔医療

8月25日(日) 11:20～12:10 ギャラリー1

座長: 高橋 奈美 (札幌市立大学)

B-6-1 腹膜透析療法を受ける高齢者へのテレナーシングによる自己管理意識と生活の質の変化の探索:混合研究法事例研究

SHAO XINXIA, 亀井 智子

聖路加国際大学大学院

B-6-2 慢性閉塞性肺疾患在宅療養者のセルフマネジメントを促進する遠隔医療の有効性—システムティックレビューとメタアナリシス

戚 琳, 亀井 智子

聖路加国際大学大学院

B-6-3 在宅慢性閉塞性肺疾患療養者への遠隔モニタリングに基づく遠隔医療の有効性:システムティックレビューとメタアナリシス

河田 萌生¹⁾, 亀井 智子²⁾, 南 琴子¹⁾, 原田 智世²⁾, Qi Lin¹⁾, 志賀 悠³⁾, Shao Xinxia¹⁾, 東 亜季³⁾, 猪飼 やす子⁴⁾, 清水 恵⁵⁾, 榎本 雪絵⁶⁾, 河野 光伸⁷⁾, 臺 有桂⁸⁾, 服部 ゆかり⁹⁾, 平原 優美¹⁰⁾, 増田 和高¹¹⁾, 尾崎 章子⁵⁾

1) 聖路加国際大学大学院看護学研究科博士課程

2) 聖路加国際大学大学院看護学研究科

3) 聖路加国際大学大学院看護学研究科修士課程

4) 山梨県立大学看護学部・大学院看護学研究科

5) 東北大学大学院医学系研究科 6) 杏林大学保健学部リハビリテーション学科

7) 金城大学大学院総合リハビリテーション学研究科 8) 神奈川県立保健福祉大学

9) 東京大学大学院医学系研究科

10) 日本訪問看護財団/あすか山訪問看護ステーション

11) 武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科

B-6-4 テレナーシングにおける遠隔身体観察を支援する視覚的な身体動作ナビゲーション手法の検討

内田 聡一郎¹⁾, 今井 良太¹⁾, 後藤 充裕¹⁾, 瀬下 仁志¹⁾, 亀井 智子²⁾

1) NTT人間情報研究所

2) 聖路加国際大学大学院看護学研究科

B-6-5 「D to P with N」オンライン診療を活用した看護実践の効果と課題

光根 美保

中津胃腸病院訪問看護ステーションいちょう並木

B-7 群 在宅ケア技術

8月25日(日) 13:00～13:50 ギャラリー1
座長: 正野 逸子 (令和健康科学大学)

B-7-1 熟練看護師の精神科訪問看護における困難に対する看護

長谷山 遼^{1,2)}, 笹木 弘美³⁾

- 1) 北海道科学大学 保健医療学研究科
- 2) 医療法人重仁会 大谷地病院
- 3) 北海道科学大学 看護学科

B-7-2 脊髄障害により重度の両下肢運動麻痺が残存する在宅での対象者に対する入浴介助方法の検討

西 紘希, 泉 拓也, 中島 幸子, 小副川 亜衣, 野中 由佳
訪問看護ステーション よろこび

B-7-3 骨転移のあるがん患者の日常生活における困難に関する文献検討

河野 智一^{1,3)}, 新井 香奈子²⁾

- 1) 滋賀県立大学大学院 人間看護学研究科 人間看護学専攻 高度実践看護学部門在宅看護分野
- 2) 滋賀県立大学 人間看護学研究院
- 3) 長浜病院訪問看護ステーション

B-7-4 在宅療養において人工呼吸器からの離脱が可能となった一例

山下 直美¹⁾, 伊藤 愛¹⁾, 北川 智子¹⁾, 松が谷 美充¹⁾, 阿部 明奈¹⁾,
稲田 敏樹²⁾, 塚本 伸男³⁾

- 1) リハビリ訪問看護ステーションHIRO'S
- 2) 在宅療養支援診療所ライフ千代田クリニック
- 3) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護泰山

B-7-5 訪問看護師による皮下輸液の実施状況と課題

森下 麻里菜, 谷山 牧
国際医療福祉大学大学院

B-8 群 サービスの質

8月25日(日) 14:00～14:50 ギャラリー1
座長: 岡本 双美子 (三重大学大学院)

B-8-1 Covid-19流行以前の訪問看護師のコミュニケーションの種類と特徴

丸山 結衣¹⁾, 平山 香代子²⁾

- 1) 慈恵医科大学附属柏病院
- 2) 和洋女子大学看護学部看護学科

B-8-2 慢性疾患患者を支える外来看護師のアセスメント

看護介入の必要性の高い患者を捉える

竹中 英利子, 川上 理子, 森下 幸子
高知県立大学看護学部

B-8-3 難病患者による訪問看護のアウトカム評価

板垣 ゆみ¹⁾, 中山 優季¹⁾, 原口 道子¹⁾, 松田 千春¹⁾, 小倉 朗子¹⁾,
小森 哲夫²⁾

- 1) 東京都医学総合研究所
- 2) 東京医療保健大学 / 多摩リハビリテーション病院

B-8-4 NST専門療法士の資格を有する訪問看護師の実践

経口摂取している在宅高齢療養者の低栄養を改善する食支援

内橋 恵
Nurture

B-8-5 介護職員の痰吸引研修終了後の課題及び、訪問看護師によるフォローアップの現状と課題

小枝 美由紀¹⁾、田川 由香²⁾、久保 好子³⁾、久保 真弓⁴⁾、
黒岩 美奈子⁵⁾、信川 千賀子⁶⁾、岩崎 美智子⁷⁾

- 1) 神戸女子大学看護学部 2) 明石市医師会訪問看護ステーション
3) 順心会訪問看護ステーション別府 4) あべいすと訪問看護リハビリセンター
5) 訪問看護ステーションさくら 6) おかもと訪問看護ステーション垂水
7) もみじ訪問看護ステーション

C-1 群 教育・人材育成1

8月24日(土) 13:00～13:50 ギャラリー2

座長: 江本 厚子 (一宮研伸大学)

C-1-1 新卒訪問看護師の新任期におけるコンピテンシー

大月 真弓、菊地 ひろみ
札幌市立大学大学院看護学研究科

C-1-2 「A訪問看護センターにおけるデスカンファレンスの導入の効果と課題」

江口 真知子¹⁾、中瀬 美穂¹⁾、丸山 加寿子²⁾
1) ケアクリ看護センター
2) 大阪市立大学大学院看護学研究科後期博士課程

C-1-3 在宅ケアの暴力・ハラスメント対策研修の臨床活用への可能性
～研修後アンケートより～

武 ユカリ
森ノ宮医療大学

C-1-4 併設する療養通所介護を活用した訪問看護事業所での新卒看護師の育成
新卒看護師の就業後一年を振り返ったレポートから

山田 真理子、神崎 喜代子
楽らくサポートセンター レスピケアナース

C-1-5 オンライン会議システムを用いた在宅ケア従事者を対象とした研修会の活動報告

吉丸 春香^{1,2)}、森山 薫²⁾
1) 広島大学大学院 医系科学研究科
2) にじのはな在宅看護センター

C-2 群 教育・人材育成2

8月24日(土) 14:00～14:50 ギャラリー2

座長: 菊地 ひろみ (札幌市立大学)

C-2-1 在宅看護学実習を行うことでもたらされる訪問看護事業所への効果

河野 和歌子¹⁾、國丸 周平²⁾、新井 香奈子²⁾
1) 友仁訪問看護ステーションすずらん
2) 滋賀県立大学

C-2-2 訪問看護事業所におけるクリニカルラダー導入がワークモチベーションに与える影響の検討

齋藤 緑¹⁾、伊藤 絵梨子²⁾
1) スギナーシングケア株式会社
2) 横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野

- C-2-3 訪問看護人材育成を目的とした同行訪問プロセスの現状と課題(第1報)
訪問看護師への質問紙調査結果より見えた経験内容
八木 亜希¹⁾, 外井 智美¹⁾, 吉沢 秀子¹⁾, 藤田 恵¹⁾, 岡部 明子²⁾
1) タツミ訪問看護ステーション湘南台
2) 東海大学医学部看護学科(非常勤)
- C-2-4 訪問看護人材育成を目的とした同行訪問プロセスの現状と課題(第2報)
訪問看護師への質問紙調査の自由記載から見えた意義と課題
藤田 恵¹⁾, 外井 智美¹⁾, 吉沢 秀子¹⁾, 八木 亜希¹⁾, 岡部 明子²⁾
1) タツミ訪問看護ステーション湘南台
2) 東海大学医学部看護学科(非常勤)
- C-2-5 訪問看護導入期における訪問看護管理者の臨床判断に対する重要度の認識と実践
脳血管障害および認知症を持つ利用者について
小林 裕美¹⁾, 乗越 千枝²⁾
1) 四天王寺大学 看護学研究科
2) 四天王寺大学 看護学部

C-3 群 教育・人材育成3

8月24日(土) 15:00~15:50 ギャラリー2
座長: 戸村 ひかり(東京都立大学大学院)

- C-3-1 新カリキュラムでの「地域・在宅看護論実習」を展開するために
～過去の実習の文献検討より～
菅原 千恵子
東北福祉大学健康科学部保健看護学科
- C-3-2 ルーブリック評価からみる在宅看護学実習における学生の学修認識
乗越 千枝¹⁾, 小林 裕美²⁾, 矢野 眞理¹⁾, 金本 純子¹⁾
1) 四天王寺大学看護学部
2) 四天王寺大学大学院看護学研究科
- C-3-3 Augmented Reality(AR)を活用した在宅における気管内吸引演習プログラムの開発と評価
浅海 くるみ¹⁾, 大木 正隆¹⁾, 田仲 浩平²⁾
1) 東京工科大学医療保健学部
2) 東京工科大学医療保健学部臨床工学科
- C-3-4 在宅看護学実習前後におけるARシミュレーター演習中のダブルタスク下での
コミュニケーションスキルの変化に対するKH Coderを用いた分析
門野 杏子¹⁾, 河野 あゆみ²⁾, 岡本 双美子³⁾
1) 大阪公立大学看護学部
2) 大阪公立大学看護学研究科地域包括ケア科学分野
3) 三重大学大学院医学系研究科看護学専攻
- C-3-5 【演題取り下げ】療養生活のイメージを育成するバーチャル・リアリティ教材
煤田 恵子
関西国際大学保健医療学部看護学科

C-4 群 地域包括ケアシステム1

8月25日(日) 9:20～10:10 ギャラリー2
座長: 田村 須賀子 (富山大学)

- C-4-1 地域を支える在宅療養支援診療所の取り組みについて
— 2事例を通して実践の報告 —
山本 悦子
医療法人社団翔洋会 辻内科循環器科歯科クリニック
- C-4-2 定期巡回随時対応型訪問介護看護の強みと課題
～管理者の視点から～
米田 夏希¹⁾, 片平 伸子²⁾
1) 笑生訪問看護ステーション
2) 国際医療福祉大学大学院
- C-4-3 看護小規模多機能型居宅介護における利用者のニーズに合った自事業所の
訪問サービスの特色
低血糖を早期に発見し対処につなげられた事例より
山橋 直子
生活協同組合コープみらい・コープみらい四街道訪問看護ステーション
- C-4-4 地域包括ケアシステムにおける看介連携の確立に向けて
A看護小規模多機能型介護の管理者の語りから
畑 吉節未
関西国際大学
- C-4-5 訪問入浴介護サービスの持続可能性を検討する上での課題
渡辺 忍, 鶴見 三代子, 高村 祐子
茨城県立医療大学保健医療学部看護学科

C-5 群 地域包括ケアシステム2

8月25日(日) 10:20～11:10 ギャラリー2
座長: 板谷 智也 (宮崎大学)

- C-5-1 新規要支援高齢者の5年間介護保険支出額と障害調整生命年を用いた費用効果分析
三浦 剛¹⁾, 河野 あゆみ²⁾
1) 大阪市立大学大学院看護学研究科
2) 大阪公立大学大学院看護学研究科
- C-5-2 在宅療養支援診療所を対象とした経済問題のある高齢患者に対する紹介元の医療
機関の支援の状況
竹本 与志人¹⁾, 杉山 京²⁾, 合田 衣里³⁾, 桐野 匡史¹⁾
1) 岡山県立大学保健福祉学部
2) 大阪公立大学大学院生活科学研究科
3) 新見公立大学健康科学部
- C-5-3 在宅療養支援診療所を対象とした高齢患者の経済問題の解決に向けた支援要請の
類型化
杉山 京¹⁾, 合田 衣里²⁾, 桐野 匡史³⁾, 竹本 与志人³⁾
1) 大阪公立大学大学院生活科学研究科
2) 新見公立大学健康科学部
3) 岡山県立大学保健福祉学部

C-5-4 介護保険施行2000年以降の中国帰国者および中国帰国者1世の「在宅介護」に
焦点をあてた文献検討

YAN QIJUN¹⁾, 牛久保 美津子²⁾

1) 群馬大学大学院保健学研究科博士前期課程

2) 群馬大学大学院保健学研究科看護学講座

C-5-5 外国人高齢者および家族を支援する地域包括支援センター職員の困難と対処

伊藤 裕子¹⁾, 古田 加代子¹⁾, 山本 理絵²⁾

1) 愛知県立大学看護学部

2) 愛知県立大学教育福祉学部

C-6 群 地域包括ケアシステム3

8月25日(日) 11:20~12:00 ギャラリー2

座長: 井上 高博 (名古屋市立大学大学院)

C-6-1 都市部団地居住者の社会的フレイルの現状と男女別の比較

山本 なつ紀¹⁾, 内山 映子²⁾, 永田 智子¹⁾

1) 慶應義塾大学 看護医療学部

2) 慶應義塾大学院 政策・メディア研究科

C-6-2 コロナ禍を経た地域活動の参加に対する都市在住高齢男性の意識<第1報>

菊池 有紀¹⁾, 塚原 ゆかり²⁾

1) 東京医療保健大学千葉看護学部

2) 湘南医療大学保健医療学部

C-6-3 コロナを経た地域活動の活動継続に対する都市在住高齢男性の意識<第2報>

塚原 ゆかり¹⁾, 菊池 有紀²⁾

1) 湘南医療大学保健医療学部

2) 東京医療保健大学千葉看護学部

C-6-4 地域の既存コミュニティへの参加につながらない住民の特徴

石川 志麻

慶應義塾大学看護医療学部

C-7 群 組織管理

8月25日(日) 13:00~13:50 ギャラリー2

座長: 杉田 由加里 (千葉大学大学院看護学研究院)

C-7-1 訪問看護における直接的なケアを補完するICT利活用ニーズ:SCATを用いた質的
データ分析

坂本 年生^{1,2)}, 森田 瑞樹^{1,3)}

1) 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科

2) 梅花女子大学看護保健学部看護学科

3) 岡山大学医学部保健学科

C-7-2 訪問看護におけるICTを活用した他機関との情報共有

田川 由香^{1,8)}, 久保 好子^{2,8)}, 久保 真弓^{3,8)}, 黒岩 美奈子^{4,8)},

小枝 美由紀^{5,8)}, 信川 千賀子^{6,8)}, 岩崎 美智子^{7,8)}

1) 明石市医師会訪問看護ステーション 2) 順心会訪問看護ステーション別府

3) あべいすと訪問看護リハビリセンター 4) 訪問看護ステーションさくら

5) 神戸女子大学看護学部 6) おかもと訪問看護ステーション垂水

7) もみじ訪問看護ステーション

8) 兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会 訪問看護質向上委員会

C-7-3 在宅療養中の2型糖尿病患者における、患者教育の継続がHbA1cに与える影響

相島 美彌¹⁾、奥田 昌子²⁾、恋中 理恵²⁾、神保 昌世²⁾、宮田 佳穂里³⁾、
高水 佳代²⁾、岡本 麻里²⁾、田中 君枝²⁾、岡田 泰臣²⁾、菊山 教子²⁾、
小西 敬一²⁾、岩角 麻衣²⁾、廣西 和代²⁾、東本 桂²⁾、柏木 知美²⁾、
西 未知子²⁾、山本 陵平⁴⁾、大槻 奈緒子⁵⁾

1) 社会福祉法人夢の会 はびれすと訪問看護ステーション

2) 橋本市民病院看護部 3) 橋本市民病院診療部

4) 大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター 5) 大阪公立大学看護学部

**C-7-4 訪問看護ステーション看護管理者のワーク・エンゲイジメント向上プログラムの開発
およびその効果の検証**

中村 真弓¹⁾、瀬在 泉¹⁾、内野 小百合¹⁾、一宮 賢司²⁾、水上 勝義³⁾

1) 防衛医科大学校 医学教育部看護学科

2) 訪問看護ステーションANSA

3) 筑波大学 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群

**C-7-5 三重県A地域の訪問看護ステーションにおける新型コロナウイルス感染症流行に関連
して生じた課題**

中村 いお美¹⁾、北井 真紀子¹⁾、東川 亜依子²⁾、春名 誠美¹⁾、
多次 淳一郎¹⁾

1) 四日市看護医療大学 看護医療学部 看護学科

2) 地域医療機能推進機構 四日市羽津医療センター附属訪問看護ステーション

C-8 群 災害支援

8月25日(日) 14:00~14:40 ギャラリー2

座長：河原 加代子（東京都立大学）

**C-8-1 自治体の委託を受けた訪問看護師が健康観察した新型コロナウイルス感染症陽性
在宅療養者への支援の実態**

山辺 智子、平原 優美

公益財団法人日本訪問看護財団

**C-8-2 コロナ禍3年間で訪問看護師が体験した利用者の状態悪化と看護提供上の苦闘：
質的研究**

飯野 愛稀¹⁾、牛久保 美津子²⁾、柏瀬 淳²⁾、橋本 紗織²⁾

1) 群馬大学医学部附属病院

2) 群馬大学大学院保健学研究科

**C-8-3 群馬県の訪問看護師の減災意識と医療的ケアを必要とする在宅療養者に対する減災
対策**

遠藤 祐理子¹⁾、柏瀬 淳²⁾、牛久保 美津子²⁾

1) 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター

2) 群馬大学大学院保健学研究科

C-8-4 熊本地震における被災就労者が災害直後に抱える困難感

古賀 佳代子

福岡大学医学部看護学科

協賛等一覧

(順不同・敬称略)

■共催

鎌倉市

■共催セミナー

株式会社大塚製薬工場

株式会社モリトー

■抄録集・プログラム集広告

医療法人社団健育会
医歯薬出版株式会社

中央法規出版株式会社
パラマウントベッド株式会社

■幕間広告・ホームページバナー広告

株式会社アトラス旅行
一般社団法人Nurse for Nurse
株式会社ワールドプランニング

エルゼビア・ジャパン株式会社
株式会社学研メディカルサポート
ディアケア株式会社

■企業展示

ファストドクター株式会社
ホリスティックケアプロフェSSIONALスクール
SOMPO Light Vortex株式会社
株式会社インボディ・ジャパン
株式会社ゼスト
常盤薬品工業株式会社
株式会社薬進
株式会社モリトー

第一三共ヘルスケア株式会社
東洋羽毛首都圏販売株式会社 横浜営業所
日本シグマックス株式会社
ナック商会株式会社
株式会社大塚製薬工場
ディアケア株式会社
ユニ・チャーム株式会社
株式会社VIPグローバル

■後援

一般社団法人神奈川県介護支援専門員協会
一般社団法人神奈川県訪問看護ステーション協議会
神奈川県言語聴覚士会
公益社団法人神奈川県看護協会

一般社団法人神奈川県作業療法士会
一般社団法人日本在宅ケアアライアンス
慶應義塾大学SFC研究所
公益社団法人神奈川県理学療法士会

■助成

公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団

慶應SFC学会

第29回日本在宅ケア学会学術集会の開催にあたり、皆様よりご協力いただきました。
深く御礼申し上げます。

第29回日本在宅ケア学会学術集会
学術集会長 永田 智子

企画委員・実行委員一覧

(五十音順)

学術集会長

永田 智子 慶應義塾大学

企画委員

秋山 美紀	慶應義塾大学
石川 志麻	慶應義塾大学
叶谷 由佳	横浜市立大学
北岡 英子	湘南鎌倉医療大学
木全 真理	川崎市立看護大学
鈴木 美穂	慶應義塾大学
臺 有桂	神奈川県立保健福祉大学
高砂 裕子	南区医師会訪問看護ステーション
田口 敦子	慶應義塾大学
平野 優子	慶應義塾大学
深堀 浩樹	慶應義塾大学
堀田 聡子	慶應義塾大学
真志田 祐理子	慶應義塾大学
丸山 祥	湘南慶育病院
水井 翠	慶應義塾大学
宮川 祥子	慶應義塾大学
山本 なつ紀	慶應義塾大学
渡邊 宏樹	湘南藤沢徳洲会病院
渡部 寛史	ノビシロクリニック藤沢

実行委員

石村 珠美	国際医療福祉大学
岡村 祐美	慶應義塾大学大学院
小沢 浩美	慶應義塾大学大学院
加藤 由希子	慶應義塾大学
櫻井 純子	湘南鎌倉医療大学
角川 由香	東京大学大学院
武井 ますみ	湘南鎌倉医療大学
中山 直子	神奈川県立保健福祉大学
吉田 裕美	慶應義塾大学大学院

医歯薬出版 好評関連書のご案内



在宅ケアにおける新たな重要課題を加え、最新エビデンスに基づき改訂！

エビデンスにもとづく

在宅ケア実践 ガイドライン 2024(仮)

一般社団法人日本在宅ケア学会／監修
一般社団法人日本在宅ケア学会
ガイドライン作成委員会／編集
A4判 224頁(予定)

2024年
秋発行!!



地域・在宅看護の視点を統合したアセスメント枠組みで看護過程を展開！

療養者が望む暮らしを支える

地域・在宅看護過程

尾崎 章子・蒔田 寛子 編著
AB判 128頁
定価 2,750円
(本体 2,500円＋税 10%)
ISBN978-4-263-23775-5



悩みごと16ケースから考える、在宅医療・ケアの「尊厳」と「倫理」！

在宅ケアの悩みごと解決マップ

ケースで現場の問題「見える化」します

堂園俊彦・角田ますみ・
北西史直・中村美智太郎 編著
B5判 160頁
定価 3,520円
(本体 3,200円＋税 10%)
ISBN978-4-263-73212-0



医歯薬出版株式会社

☎ 113-8612 東京都文京区本駒込 1-7-10 TEL03-5395-7610
https://www.ishiyaku.co.jp/ FAX03-5395-7611



ISBN978-4-8243-0022-5

医師・看護師のための 認知症プライマリケア まるごとガイド

●平原佐斗司、内田直樹、遠矢純一郎＝編著
●定価 4,620円(税込) B5判・480頁 2024年4月発行

疾患別の解説のほか、認知症高齢者の各ステージで医療専門職が行うべき対応を整理した。認知症のプライマリケアに必要な知識を網羅的に解説する一冊。



ISBN978-4-8058-8982-4

がんになった人のそばで、 わたしたちにできること 「幸せな生」を支えるための10の講義

●西 智弘＝著
●定価 1,980円(税込) 四六判・242頁 2023年12月発行

がんを患い死に向かう人に、支援者はどうかかわるのか。気鋭の緩和ケア医が知識から心構えまで講義形式でやさしく解説した。



ISBN978-4-8058-8936-7

Q&Aでわかる 訪問看護ステーションの 起業・経営・管理

確かなスタートと着実なマネジメントで成果を出そう

●公益財団法人日本訪問看護財団＝編集
平原優美、藤澤泰平、柳澤優子、加藤 希＝著
●定価 3,300円(税込) A5判・316頁 2023年9月発行

訪問看護事業所の着実な起業・経営のための視点をわかりやすく伝授。さまざまな悩みについてQA形式で具体的に解説した。

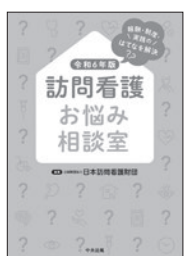


ISBN978-4-8058-8988-6

在宅医療 治し支える医療の概念と実践

●横倉義武、大島伸一、辻 哲夫、新田國夫＝監修
蘆野吉和、太田秀樹＝編集
●定価 4,180円(税込) B5判・292頁 2024年4月発行

高齢化による疾病構造の変化に伴い、医療の概念が「治し支える医療」へと変化している中、在宅医療の概念やあり方を体系的かつ詳細に解説する。



ISBN978-4-8243-0096-6

報酬・制度・実践のはてなを解決 訪問看護お悩み相談室

令和6年版

●公益財団法人日本訪問看護財団＝編集
●定価 3,300円(税込) A5判・440頁 2024年8月発行

令和6年度の診療報酬・介護報酬改定をふまえた解説とともに、最新情報をわかりやすくまとめた。訪問看護のあらゆる疑問に答える一冊。



ISBN978-4-8243-0092-8

訪問看護実務相談 Q&A

令和6年版

●一般社団法人全国訪問看護事業協会＝編集
●定価 3,960円(税込) B5判・620頁 2024年8月発行

訪問看護に関する介護報酬と診療報酬について、算定要件や手続き等、実務の参考になる約 600 のQ&Aを収録。令和6年度の改訂に対応し、アップデートした。

気持ちいい角度に。自動運転ベッド。


Active Sleep



眠りギャラリー TOKYO

〒104-0031 東京都中央区京橋1-6-1 三井住友海上テプコビル1階

☎ (03) 5250-1515

眠りギャラリー SAPPORO

〒060-0062 札幌市中央区南2条西13-318-11

☎ (011) 219-8800

眠りギャラリー NAGOYA

〒461-0001 名古屋市東区泉1-20-17

☎ (052) 963-6800

眠りギャラリー OSAKA

〒550-0001 大阪市西区土佐堀2-3-33 パラマウントベッド大阪支店内7階

☎ (06) 6443-6565

眠りギャラリー FUKUOKA

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-14-20

☎ (092) 461-0666

第30回 日本在宅ケア学会 学術集会

OSAKA

サイエンスとひとが創り出す在宅ケア



2025年9月13日(土)・14日(日)

学術集会長

河野 あゆみ

(大阪公立大学 看護学部 地域包括ケア科学 教授)

事務局長

三輪 恭子

(大阪公立大学 看護学部 在宅看護学 教授)

会

場

千里ライフサイエンスセンター

大阪府豊中市新千里東町1-4-2 最寄り駅：地下鉄・大阪モノレール「千里中央」駅

学術集会HP

<https://plaza.umin.ac.jp/jahc30>



一般演題・交流集会の募集は2025年1月以降を予定しております

運営事務局

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1丁目4番8号 日栄ビル703A あゆみコーポレーション内



06-6131-6605



jahc30@a-youme.jp

第29回日本在宅ケア学会学術集会

学術集会事務局

慶應義塾大学看護医療学部在宅看護学分野
〒252-0883 神奈川県藤沢市遠藤 4411
E-mail : 29th-jahc-office@sfc.keio.ac.jp

運営事務局

株式会社ユピア
〒456-0005 名古屋市熱田区池内町 3-21
E-mail : jahc29@yupia.net



学術集会ホームページ

<https://jahc29.yupia.net/>